

教 総 第 110 号
令和 5 年 6 月 1 日

白岡市議会議長 大 島 勉 様

白岡市教育委員会
教育長 横 松 伸

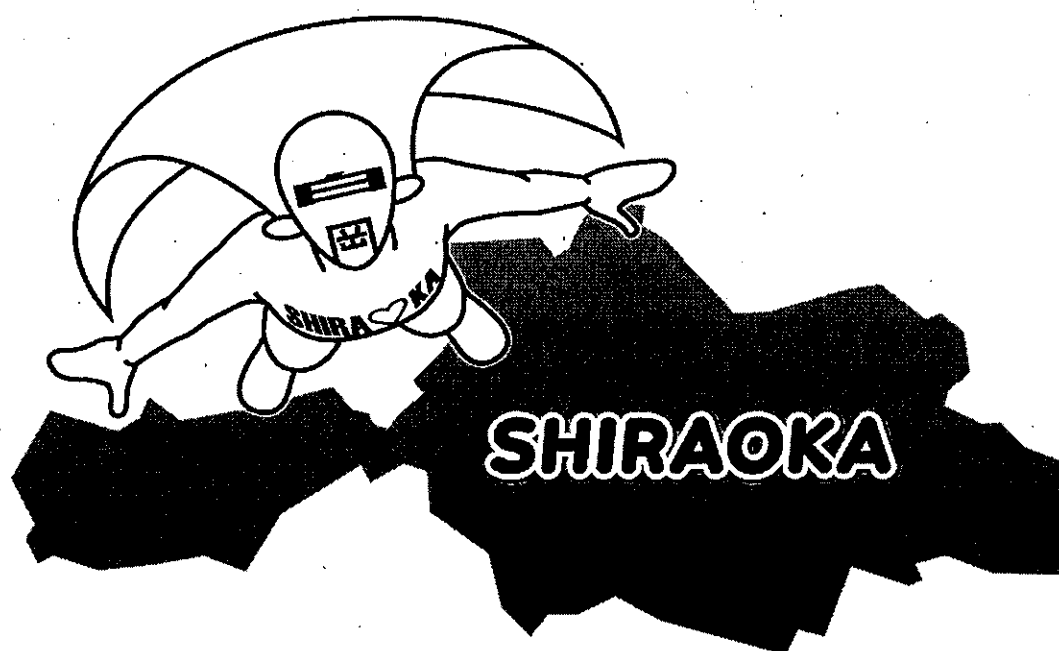


令和 4 年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書について
このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和
31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、別添のとおり
提出します。



令和4年度

白岡市教育委員会の 点検・評価報告書



令和5年5月

白岡市教育委員会

目 次

| | |
|------------------------------------|----|
| 白岡市教育委員会教育委員名簿 | 1 |
| I 点検・評価の趣旨 | 2 |
| II 点検・評価の対象 | 3 |
| III 点検・評価の方法 | 3 |
| IV 点検・評価の構成 | 4 |
| 1 点検・評価の項目 | |
| 2 実施スケジュール | |
| 3 議会への報告 | |
| 4 一般への公表 | |
| V 達成度及び評価結果の判断基準 | 6 |
| 1 達成度の判断基準 | |
| 2 評価結果の判断基準 | |
| VI 教育委員会会議の開催状況 | 7 |
| VII 白岡市教育委員会の点検・評価シート | |
| 1 家庭・地域の教育力の向上 | 16 |
| (1) 家庭教育活動の充実 | |
| (2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進 | |
| 2 学校教育の充実 | 26 |
| (1) これからの時代に求められる資質・能力の育成 | |
| (2) 豊かな心、健やかな体の育成 | |
| (3) 教職員の資質・能力の向上 | |
| (4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成 | |
| (5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備 | |
| (6) 多様なニーズに応える教育活動 | |
| 3 社会教育の充実 | 58 |
| (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実 | |
| (2) 人権教育の推進 | |
| (3) 文化・芸術活動の促進 | |
| (4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進 | |
| (5) 生涯スポーツの普及・推進 | |

白岡市教育委員会教育委員名簿

令和5年3月31日現在

| 職名 | 氏名 | 任期 | 備考 |
|--------------|---------------------|----------------------------|----|
| 教育長 | よこまつ しんじ 横松 伸二 | 令和4年9月21日から 令和6年3月31日まで | |
| 教育長 職務代理者 | あらい じろう 新井 二郎 | 平成31年4月1日から 令和5年3月31日まで | |
| 委員 | やまざき みさえ 山崎 美佐江 | 令和3年10月1日から 令和7年9月30日まで | |
| 委員 | わだ れいこ 和田 玲子 | 令和4年10月1日から 令和8年9月30日まで | |
| 委員 | おのめ によ かい 小野目 如快 | 令和2年10月1日から 令和6年9月30日まで | |

I 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、一般に公表しなければならないこととされています。

白岡市教育委員会は、この規定に基づき、より充実した教育行政を推進するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し、この報告書を作成しました。

〔地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

☆ どのような点検・評価を行うか、また、報告書の様式や議会への報告の方法などについては、国が基準を定めるのではなく各教育委員会がそれぞれの実情を踏まえて決定することとされています。

Ⅱ 点検・評価の対象

白岡市教育委員会は、令和4年度から令和8年度までを計画期間とし、この5年間に取り組む目標と施策を示した「第3期白岡市教育振興基本計画」を策定しています。

この計画では、「学び楽しむまちづくり～次代を担う人と豊かな文化を育む～」を基本理念とし、その実現のために13の施策項目を掲げています。

また、この計画の実効性をより高めるために「令和4年度白岡市教育行政の重点施策」を策定しています。

白岡市教育委員会では、これらの計画・施策に沿って設定した事業等の取組状況について、点検評価を行いました。

Ⅲ 点検・評価の方法

白岡市教育委員会では、各事業の取組状況について、教育委員会による自己評価を行いました。

そして、この点検・評価の客観性を確保するため、教育委員会自らが行った点検・評価やその方法に対して教育に関し学識経験を有するかたから、公正・的確な意見をいただきました。

令和4年度は、^{よしのたかお}吉野高男氏と^{たなかひろこ}田中裕子氏に依頼し、御意見をいただきました。

| 氏 名 | 経 歴 |
|---------------|------------------------------------|
| よしのたかお 吉野高男 氏 | 元白岡市立小・中学校校長会会長 元白岡市立南中学校長 |
| たなかひろこ 田中裕子 氏 | 白岡市文化財保護審議会委員 元埼玉県立歴史と民俗の博物館副館長 |

Ⅳ 点検・評価の構成

1 点検・評価の項目 () 内は掲載ページ

1 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭教育活動の充実

- ① 親力の育成 (16P)
- ② 家庭教育活動における指導者育成 (18P)

(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進

- ① 体験的な学習機会・活動の充実 (20P)
- ② 放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進 (22P)
- ③ 地域の子育て支援活動の促進 (24P)

2 学校教育の充実

(1) これからの時代に求められる資質・能力の育成

- ① 確かな学力の育成 (26P)
- ② 社会変化へ対応する力の育成 (28P)

(2) 豊かな心、健やかな体の育成

- ① 体験活動の推進と豊かな心の育成 (30P)
- ② 命を大切にす教育の推進 (32P)
- ③ いじめ防止対策の推進 (34P)
- ④ 心身の健康の保持増進 (36P)

(3) 教職員の資質・能力の向上

- ① 教職員の資質・能力の向上 (38P)
- ② 教職員の働き方改革の推進 (40P)

(4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成

- ① 家庭・地域・学校の連携・協働 (42P)
- ② ふるさと意識の醸成 (44P)

(5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備

- ① 教育環境の整備・充実 (46P)
- ② 安全安心の確保 (48P)

(6) 多様なニーズに応える教育活動

- ① 特別支援教育の充実（50P）
- ② 不登校児童生徒への支援（52P）
- ③ 外国人児童生徒・帰国児童生徒への支援（54P）
- ④ 経済的支援（56P）

3 社会教育の充実

(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実

- ① 生涯学習活動の推進（58P）
- ② 生涯学習施設・設備の充実（60P）
- ③ 図書館機能の充実（62P）
- ④ 子どもの読書活動の推進（64P）
- ⑤ 枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化（66P）

(2) 人権教育の推進

- ① 人権教育推進体制の充実（68P）
- ② 啓発活動の充実（70P）

(3) 文化・芸術活動の促進

- ① 文化・芸術に触れる機会の充実（72P）
- ② 市民の文化・芸術活動の支援（74P）

(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進

- ① 文化財の総合的把握の促進（76P）
- ② 歴史文化の保存と継承（78P）
- ③ 歴史文化の情報発信・普及活用の充実（80P）
- ④ 市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用（82P）

オ 生涯スポーツの普及・推進

- ① 生涯スポーツの普及・推進（84P）
- ② スポーツ指導者の育成（86P）
- ③ スポーツ施設・設備の充実（88P）

2 実施スケジュール

当該年度に実施・推進する施策等について、点検・評価を行い、議会への報告及び一般への公表を行います。

- | | | | |
|-----|------|-------|------------------|
| (1) | 1月下旬 | | 教育委員会事務局で原案作成 |
| (2) | 3月下旬 | | 学識経験者から意見書を受領 |
| (3) | 5月 | | 教育委員会での決定 |
| (4) | 6月 | | 議会への報告 一般への公表 |

3 議会への報告

点検・評価の結果を毎年度、策定後直近の議会において報告します。

4 一般への公表

議会への報告後、教育委員会のホームページに掲載するとともに、閲覧用の報告書等を各公共施設に置きます。

V 達成度及び評価結果の判断基準

1 達成度の判断基準

〔目標と成果・実績とを比較・勘案して〕

- | | | |
|---|---------------|------------|
| A | … 達成している。 | (ほぼ100%達成) |
| B | … ほぼ達成している。 | (約80%達成) |
| C | … おおむね達成している。 | (約60%達成) |
| D | … 達成していない。 | (50%以下) |

2 評価結果の判断基準

〔自己点検・評価と外部評価者の意見等を勘案して〕

- | | | |
|---|--------------|------------|
| A | … 順調である。 | (ほぼ100%満足) |
| B | … おおむね順調である。 | (約80%満足) |
| C | … やや不調である。 | (約60%満足) |
| D | … 不調である。 | (50%以下) |

Ⅵ 教育委員会会議等の開催状況

～教育委員会会議～

教育委員会会議を、原則として月に1回開催し、付議事案の審議、協議及び報告などを行い、市の教育行政の方針等を決定しています。

令和4年度は定例会の会議を12回、臨時の会議を3回開催し、傍聴人は30人でした。

<4月定例会>

○日時 令和4年4月14日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 専決処分の報告について(白岡市教育支援センター設置要綱廃止)

○議案

議案第10号 文化財の追加指定について

<5月定例会>

○日時 令和4年5月12日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 専決処分の報告について(人事案件)

第4 PTA会長等の表彰について

第5 白岡市いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について

第6 令和4年度白岡市立菁莪小学校放課後子ども教室コーナーディネーターの委嘱について

第7 令和4年度白岡市立大山小学校放課後子ども教室コーナーディネーターの委嘱について

○議案

議案第11号 令和3年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書について

議案第12号 白岡市教育支援センター条例の一部を改正する条例(案)に係る意見聴取について

議案第13号 白岡市文化財保護条例の一部を改正する
条例（案）に係る意見聴取について

<6月定例会>

○日時 令和4年6月16日（木） 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 白岡市教育委員会事務局職員（部長等を除く）の人事
について

第3 専決処分の報告について（補正予算第4号）

第4 6月議会定例会の一般質問について

第5 白岡市社会教育委員の委嘱について

○議案

議案第14号 白岡市就学援助費受給者に対する臨時給付金
支給事業実施要綱

<6月臨時会>

○日時 令和4年6月23日（木） 午前9時00分

○議案

議案第15号 白岡市教育委員会教育長の辞職の同意につい
て

<7月定例会>

○日時 令和4年7月14日（木） 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 令和4年度就学援助の認定について

第4 専決処分の報告について（補正予算第5号）

第5 専決処分の報告について（教育委員会規則一部改正）

第6 令和4年度白岡市学校給食委員会委員の委嘱について

第7 令和4年度白岡市小・中学校就学支援委員会委員の委
嘱について

第8 白岡市小・中学校区学校運営協議会委員の委嘱につい

て

第9 令和4年度白岡市小・中学校児童・生徒体力向上推進
委員会委員の委嘱について

○議案

議案第16号 白岡市文化財保護条例施行規則の一部を改正
する規則

<8月定例会>

○日時 令和4年8月4日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 就学すべき学校の指定の変更について

第2 令和4年度就学援助の認定について

第3 専決処分の報告について(白岡市いじめ防止対策推進
委員会委員の委嘱)

第4 専決処分の報告について(人事案件)

第5 専決処分の報告について(人事案件)

○議案

議案第17号 白岡市入学準備金貸付条例の一部を改正する
条例(案)に係る意見聴取について

<9月定例会>

○日時 令和4年9月15日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 令和4年度就学援助の認定について

第4 専決処分の報告について(特別職の職員で非常勤のも
のの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第5 専決処分の報告について(補正予算第6号)

第6 令和3年度白岡市一般会計決算について

第7 9月議会定例会一般質問について

○議案

議案第18号 令和5年度当初白岡市教職員人事異動方針及
び令和5年度当初白岡市立小・中学校等教職員
人事異動方針細部事項について

< 10月定例会 >

○日 時 令和4年10月13日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 就学すべき学校の指定の変更について

第2 令和4年度就学援助の認定について

第3 専決処分の報告について(人事案件)

第4 白岡市教育委員会事務局職員(部長等を除く)の人事
について

○議案

議案第19号 白岡市文化財保護審議会への諮問事項の決
定について

議案第20号 白岡市立小・中学校職員服務規程の一部を改
正する規則

< 11月定例会 >

○日 時 令和4年11月17日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 令和4年度就学援助の認定について

第4 専決処分の報告について(補正予算第10号)

○議案

議案第21号 白岡市行政組織の改編に伴う関係条例の整
備に関する条例

議案第22号 職員の給与に関する条例等の一部を改正す
る条例

議案第23号 白岡市職員の定年等に関する条例等の一部を
改正する条例

議案第24号 令和4年度白岡市一般会計補正予算(第11
号)

< 12月定例会 >

○日 時 令和4年12月15日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

- 第1 就学すべき学校の指定の変更について
- 第2 令和4年度就学援助の認定について
- 第3 12月議会定例会の一般質問について

<1月定例会>

○日時 令和5年1月12日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

- 第1 区域外就学について
- 第2 就学すべき学校の指定の変更について
- 第3 令和4年度就学援助の認定について
- 第4 令和5年度小学校入学予定者に対する新入学児童生徒学用品費等の入学前支給の認定について
- 第5 専決処分の報告について(人事案件)

○議案

- 議案第1号 白岡市公民館条例等の一部を改正する条例(案)に係る意見聴取について

<2月定例会>

○日時 令和5年2月9日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

- 第1 区域外就学について
- 第2 就学すべき学校の指定の変更について

○議案

- 議案第2号 令和4年度白岡市一般会計補正予算(第12号)(案)に係る意見聴取について
- 議案第3号 令和5年度白岡市一般会計予算(案)に係る意見聴取について
- 議案第4号 白岡市中央公民館条例等の一部を改正する条例(案)に係る意見聴取について

<2月臨時会>

○日時 令和5年2月17日(金) 午前9時30分

○議案

- 議案第5号 白岡市立小・中学校県費負担教職員人事(管理職)の内申について

< 3月定例会 >

○日 時 令和5年3月9日(木) 午前9時30分

○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 3月議会定例会の一般質問について

○議案

議案第6号 令和5年度白岡市一般会計補正予算(第1号)
(案)に係る意見聴取について

議案第7号 令和5年度白岡市教育行政の重点施策の承認に
ついて

議案第8号 白岡市立小・中学校におけるハラスメントの防
止等に関する規程

議案第9号 白岡市行政組織の改編に伴う教育委員会関係規
則の整備に関する規則

議案第10号 白岡市行政組織の改編に伴う教育委員会関係
訓令の整備に関する訓令

議案第11号 白岡市行政組織の改編に伴う教育委員会関係
告示の整備に関する告示

議案第12号 白岡市映写機使用規程を廃止する告示

議案第13号 白岡市スポーツ推進委員の委嘱について

< 3月臨時会 >

○日 時 令和5年3月20日(月) 午後3時30分

○委任事務等報告事項

第1 令和5年度当初白岡市教職員人事異動について

第2 白岡市教育委員会事務局職員(部長等を除く)の人事
について

○議案

議案第14号 白岡市教育委員会事務局職員(部長等)の人
事について

議案第15号 白岡市勤労者体育センター条例施行規則

議案第16号 白岡市市民テニスコート条例施行規則

～教育委員研修会～

教育委員会において活発な議論がされ、適切な判断がなされるよう、当面する教育行政の課題について理解を深めることの一助として、月に1回程度の研修会を開催しました。

○日 時 令和4年6月23日(木)

○議 題 ・学校給食について
・いじめ防止対策について

○日 時 令和4年7月21日(木)

○議 題 ・地域部活動推進事業について

○日 時 令和4年8月18日(木)

○議 題 ・いじめ防止対策について
・一般質問の答弁に係る経過報告について
・全国学力・学習状況調査の結果について

○日 時 令和4年9月8日(木)

○議 題 ・白岡市教育支援センター訪問(視察)について

○日 時 令和4年9月29日(木)

○議 題 ・ヤングケアラー研修
・いじめ防止対策等について

○日 時 令和4年10月20日(木)

○議 題 ・いじめ防止対策について

○日 時 令和4年12月22日(木)

○議 題 ・いじめ防止対策について
・大山小学校の現状について
・埼玉県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の結果について

- 日 時 令和5年2月2日(木)
- 議 題
- ・いじめ防止対策について
 - ・大山小学校の現状について
 - ・白岡市立小・中学校におけるパワー・ハラスメントの防止等に関する要綱について

～総合教育会議～

総合教育会議は、首長、教育委員会で構成され、首長が招集する会議です。当市における教育の現状と課題等を共有し、教育行政の一層の充実・発展を図ることを目的としています。

- 日 時 令和5年3月9日(木)
- 議 題
- ・白岡市教育行政の課題と提案について

Ⅶ 白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------------|--|
| 施策目標 | 1 家庭・地域の教育力の向上 |
| 施策項目 | (1) 家庭教育活動の充実 |
| 施策の方向 | ① 親力の育成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭教育学級、家庭教育学級合同講座の充実 2 「親の学習」講座の充実 3 家庭教育学級への支援 |
| 目標 | <p>家庭や地域の教育力の向上を図るため、家庭教育学級を各小・中学校に委託し開催していただくとともに、教育委員会主催の家庭教育学級合同講座を2回開催します。なお、開催方法については、より多くの保護者に参加していただけるよう、動画配信形式などでの開催を検討し工夫していきます。</p> <p>また、「親の学習」講座については、受講者アンケートの結果を反映した講座内容を検討し、一層の充実を図ります。</p> <p>さらに、「広報しらおか」や「市公式ホームページ」などを活用して、より多くの保護者に家庭教育や子育てに関する情報を提供できるよう努めます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭教育学級、家庭教育学級合同講座の充実【重点】 家庭教育学級を各小・中学校に委託し開催するとともに、教育委員会主催で家庭教育学級合同講座を2回開催しました。 このことにより、親力を養い、地域で安心して子育てができる環境を整備することを目的とした家庭や地域の教育力の向上が図られました。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各小・中学校家庭教育学級 <ul style="list-style-type: none"> ・篠津小学校 2回 55名参加 ・菁莪小学校 3回 200名参加 ・大山小学校 2回 25名参加 ・南小学校 2回 59名参加 ・西小学校 3回 656名参加 ・白岡東小学校 2回 34名参加 ・篠津中学校 3回 40名参加 ・菁莪中学校 2回 25名参加 ・南中学校 1回 14名参加 ・白岡中学校 2回 40名参加 <p>※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（333人中 320人・96.1%）</p> (2) 第1回合同講座（動画配信形式）の開催 演 題 子育て中のメンタルヘルス ～心が軽くなる自分に気づくコミュニケーション～ 講 師 ファミリーワークス合同会社 代表 生駒章子氏 配信期間 6月8日（水）～6月22日（水） 視聴回数 685回 ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（84人中 80人・95.2%） |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>事業実績・成果</p> | <p>(3) 第2回合同講座(動画配信形式)の開催 演 題 ネットとの上手なつきあいかた ～こどもを被害者にも加害者にもしないために～ 講 師 (一社) S-net サポーターズ 代表理事 吉田理子氏 配信期間 11月16日(水)～11月30日(水) 視聴回数 419回 ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合(58人中 56人・96.6%)</p> <p>2. 「親の学習」講座の充実 来年度の小学校新入学児の保護者を対象に、就学時健診の待ち時間を活用し、「親の学習」講座を開催しました。 なお、家庭教育アドバイザーと協力し、レジュメ(①子育ての目安「3つのめばえ」、②ストレスコントロール、③アンガーマネジメント、④子供の育ちと脳について)を作成し、講義を行いました。 このことにより、親が必要とする知識を習得するための学習の場を提供し、家庭教育力の向上が図られました。 ・篠津小学校 10月25日 58名参加 ・菁莪小学校 10月18日 38名参加 ・大山小学校 10月 3日 6名参加 ・南小学校 10月21日 106名参加 ・西小学校 11月11日 112名参加 ・白岡東小学校 9月28日 70名参加 ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合(341人中 288人・84.5%)</p> <p>3 家庭教育学級への支援 各小・中学校に上限40,000円の委託金を交付するとともに、テーマや学習内容に係る相談・助言・資料提供を行うなど、各小・中学校の家庭教育学級の運営を支援しました。 このことにより、地域社会が一体となった教育力の向上が図られました。</p> |
| <p>達成度</p> | <p>B</p> |
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>家庭教育学級の合同講座は、今年度もコロナ禍対策としてオンライン配信形式で2回実施された。いずれも子育て世代に関心の高いテーマ設定で、多くの人が視聴したという。後日、講師への質問事項及びその回答を市のホームページに掲載したことは良い取組であった。家庭教育活動に有益な機会の提供として評価する。これが各小・中学校における家庭教育学級での活動の参考になればさらに有益だ。 一方で、オンライン方式は便利であるが課題もある。自由な時間に視聴できるという利便性はあるが、同じ会場に居合わせることで生まれる他学校の保護者との交流など「合同講座」がもたらす意義が希薄になることも否めない。講座の内容や実施方法については、今後も検討を重ねて、より良い方法で実施してもらいたい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>コロナ禍における家庭教育学級合同講座をオンライン配信形式としましたが、多くの人が視聴できるメリットがある一方で、対面により生まれる保護者間の交流など「合同講座」がもたらす意義が希薄になるデメリットがあることが課題としてあげられます。 アフターコロナにおける合同講座の開催形式を検討するとともに、親力の育成に有益な事業を実施していきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 1 家庭・地域の教育力の向上 |
| 施策項目 | (1) 家庭教育活動の充実 |
| 施策の方向 | ② 家庭教育活動における指導者育成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークの実施 2 各小・中学校へ委託している家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣 3 「親の学習」講座への家庭教育アドバイザーの派遣 4 家庭教育アドバイザー情報交換会の実施 |
| 目標 | <p>家庭教育学級や「親の学習」講座へ家庭教育アドバイザーを派遣し、家庭教育活動の充実に図ります。また、家庭教育アドバイザーに対しては、家庭教育アドバイザー情報交換会を実施するほか、県主催の家庭教育アドバイザー研修会への積極的な参加を促すなど、家庭教育学級や「親の学習」講座の内容を充実させることができるよう支援を行います。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークの実施 各小・中学校の家庭教育学級担当者（各小・中学校各2名参加）に対し、第1回打合せ会（5月20日開催）の際に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、グループワークの代替として、家庭教育アドバイザーから「家庭教育アドバイザーとは」及び「子どものおこづかいについて」の講義を行いました。 このことにより、安心して子育てや家庭教育ができるよう、親力や家庭の教育力の向上が図られました。 2 各小・中学校へ委託している家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣 新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、外部講師を招いた学校が少なかったため、家庭教育アドバイザー派遣要請はありませんでした。 3 「親の学習」講座への家庭教育アドバイザーの派遣 来年度の小学校新入学児の保護者を対象とした「親の学習」講座の開催に際し、家庭教育アドバイザーを派遣しました。 このことにより、家庭教育活動の充実が図られました。 <ul style="list-style-type: none"> ・篠津小学校 10月25日 講師2名派遣 ・菁莪小学校 10月18日 講師2名派遣 ・大山小学校 10月 3日 講師1名派遣 ・南小学校 10月21日 講師1名派遣 ・西小学校 11月11日 講師1名派遣 ・白岡東小学校 9月28日 講師2名派遣 4 家庭教育アドバイザー情報交換会の実施 市内在住の埼玉県家庭教育アドバイザーに登録されている方を対象に情報交換会を開催し、「親の学習」講座開催に向けた講義内容やレジュメ（①子育ての目安「3つのめばえ」、②ストレスコントロール、③アンガーマネジメント、④子供の育ちと脳について）の作成を行いました。 このことにより、家庭教育アドバイザーの活動を支援し、家庭教育の充実が図られました。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回情報交換会 5月20日 ・第2回情報交換会 6月20日 ・第3回情報交換会 8月 5日 ・第4回情報交換会 1月26日 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>各小・中学校の家庭教育学級担当者が出席した打合せ会における講義や、市内の6小学校の就学時健診時に実施された「親の学習」講座の実施には、家庭教育アドバイザー（1～2名）が派遣された。そうした際に、アドバイザー間の情報交換会で作成したレジュメ等を活用したことは良い取組であった。 家庭教育アドバイザーの情報交換会は、課題を共有し経験を蓄積する場となることを期待したい。今後も、各PTAと連携・協力しながら家庭教育アドバイザーとしてのスキルアップを図るとともに、その機能を十分に発揮できるよう努めてもらいたい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>コロナ禍において、家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークを実施することができませんでした。 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークや家庭教育アドバイザー情報交換会を実施するほか、県主催の家庭教育アドバイザー研修会への積極的な参加を促すなど、家庭教育学級や「親の学習」講座の内容を充実させることができるよう支援をしていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 1 家庭・地域の教育力の向上 |
| 施策項目 | (2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進 |
| 施策の方向 | ① 体験的な学習機会・活動の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 田んぼの学校の開催 2 自然観察会の開催 3 自然ふれあい体験教室の開催 4 いきいきkidsの発行 |
| 目標 | 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、ウィークエンドいきいき体験活動事業等の充実を図ります。また、ニーズにあった学習内容を検討し、より多くの人にとって参加しやすい内容とします。 |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 田んぼの学校の開催 農家の方等の指導のもと、米作りを行うことにより、親子で食べ物の大切さや農業の大変さを学ぶ機会を提供し、食育の一端を担うことができました。 (1) 田んぼの学校 全4回(連続講座) 延べ50組121名 ア 田植え体験 5月14日 12組30名 イ 田んぼの草花や生き物観察会 6月4日 13組32名 ウ 稲刈り体験 9月10日 13組31名 エ しめ縄作り 11月13日 12組28名 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2 自然観察会の開催 親子で自然体験を共有し絆を強め、児童生徒の世代間や異年齢交流を促す活動の機会を提供することができました。 (1) 自然観察会 全3回 延べ109名 ア 甲虫の標本を作ろう 8月21日 21組50名 イ 秋のあぜ道観察会 10月8日 2組 6名 ウ ひこべえの森 冬のつどい 12月17日 53名 (7月16日に予定をしていた夜の昆虫観察会は中止) |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3 自然ふれあい体験教室の開催 7月27日、28日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 4 いきいきkidsの発行 市内小学校にウィークエンドいきいき体験教室情報誌を発行しました。 第1号 7月14日発行 (全学年) |
| | <ol style="list-style-type: none"> 5 その他の体験活動の実施 親子で楽しみながら調理を行うわいわい料理教室の開催により、親子の絆を深めるとともに、料理の大変さや食べ物の大切さを身をもって実感し、食への感謝をすることで、食育の一端を担うことができました。 また、料理をすることによって五感が養われ、子どもの感覚を育てる成長の機会を提供することができました。 (1) わいわい料理教室 全2回 延べ10組30名 ア うどん打ち 9月17日 4組8名 イ ピザづくり 10月22日 6組22名 (2) わんぱく商店街 令和4年度中止のため、参加せず。 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>昨年度まではコロナ禍のため年間を通しての実施ができなかった「田んぼの学校」も、やっ と田植えや稲刈り等が実施され、「田んぼ」は生き物観察会の場としても子どもたちを楽しませ た。また、「甲虫の標本作り」や「ドラム缶ビザ」等では定員を上回る程の人気だったとい う。コロナ禍では安易に定員を増やせないが、この状況に実施回数を増やして対応するなど市 民の希望をかなえようとした姿勢を評価したい。さらに自然観察会では初めて大人が対象とな り、「長年白岡に住んでいるが初めてこの森の存在を知った」等の感想が聞かれたという。 例年実施している事業も、対象を変えるなどの工夫の余地があるという好例だ。前例を踏襲 するばかりでなく、参加する市民の立場に立って事業運営に取り組んでもらいたい。全般に体験 的な学習機会が数多く提供されたことを評価するとともに、農業従事者など事業を支えてくれ る人材の確保を今後の課題としてほしい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>事業の実施に協力していただく講師や関係者との連携をしながら、充実した体験活動を提供 するとともに、ニーズに合った学習内容を検討し、より多くの人にとって参加しやすい内容を 目指します。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------------|---|
| 施策目標 | 1 家庭・地域の教育力の向上 |
| 施策項目 | (2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進 |
| 施策の方向 | ②放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進 |
| 主な取組 | 1 放課後子ども教室の充実・拡大 |
| 目標 | <p>菁莪小学校及び大山小学校において、放課後に教室等を活用し、子どもたちが安心して過ごせる居場所を設けて、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する教室を開催します。（菁莪小学校：年12回、大山小学校：年8回）</p> |
| 事業実績・成果 | <p>1 放課後子ども教室の充実・拡大【重点】 菁莪小学校及び大山小学校において、放課後子ども教室を開催しました。 このことにより、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに成長していく環境づくりを推進し、地域の子育てネットワークを構築することができました。</p> <p>(1) 菁莪小学校 (参加児童数：47名(1～2年生：21名、3～6年生26名))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月16日(1～2年生)、7月14日(3～6年生) 名札・葉づくり、ストーンペイント ・ 9月1日(3～6年生)、9月15日(1～2年生) 飛行機大会 ・ 10月4日(3～6年生)、10月19日(1～2年生) 自由遊び(ドッチボール、ケイドロなど) ・ 11月9日(3～6年生)、11月22日(1～2年生) ポッチャ教室 ・ 12月15日(3～6年生)、1月19日(1～2年生) 凧揚げ大会 ・ 2月14日(1～2年生)、3月16日(3～6年生) スライムづくり、プラバン <p>※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合(47人中46人・95.7%)、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合(39人中38人・97.4%)</p> <p>(2) 大山小学校(参加児童数：19名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月11日 スイカ割りゲーム、水風船つり ・ 9月12日 紙飛行機づくり・飛ばし ・ 10月3日 お囃子教室 ・ 11月7日 タブレット教室 ・ 12月21日 クリスマス・イベント祭り ・ 1月16日 凧揚げ ・ 2月13日 ポッチャ教室 ・ 3月13日 モルック <p>※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合(18人中16人・88.9%)、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合(16人中14人・87.5%)</p> |
| 達成度 | A |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>放課後子ども教室は昨年度から始まった取組である。今年度は実施校が増えて、菁莪小学校と大山小学校で実施された。参加した子どもたちは授業や家庭ではできない体験等を楽しみ満足度は高いようだ。事業を安全に実施するために、概ね参加児童の約半数程のスタッフ・ボランティアがサポートしている。今後はこうした人材の確保も課題となるだろうが、今年度は多くの人たちが事業運営に毎回尽力していることを評価し、地域の子育てネットワークづくりの構築にもつながっていくことを期待したい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>事業を安全に実施するための人材確保は課題ではありますが、地域の方々の参画・協力を得ながら、引き続き、放課後や週末などの子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、放課後子ども教室の充実・拡大を図っていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>A</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|---|
| 施策目標 | 1 家庭・地域の教育力の向上 |
| 施策項目 | (2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進 |
| 施策の方向 | ③地域の子育て支援活動の促進 |
| 主な取組 | 1 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）との連携・協力 |
| 目標 | 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）同士が課題を共有し、協力しながら活動できるよう団体間の交流の機会を設けるなど、子育て・家庭教育に関わる団体（組織）と連携・協力し、地域一体となった子育て支援活動を促進します。 |
| 事業実績・成果 | <p>1 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）との連携・協力 地域の子育て支援組織である「町ぐるみん白岡」との共催により、学校応援団交流会及びおやじの会交流会を開催しました。 このことにより、各小・中学校各団体の課題を共有し、各団体同士の連携を深めることができ、地域一体となった子育て支援活動の促進が図られました。 また、地域の子育て支援組織であるASCによる放課後子ども教室の事前試行事業として、放課後子ども教室未実施の小学校4校（篠津・南・西・白岡東小学校）及び大山小学校において、モルック教室を実施し、また、全小学校全学年を対象にかけっこ教室を実施しました。 このことにより、家庭・地域・学校が一体となった子育て支援活動の促進が図られました。</p> <p>(1) 学校応援団交流会（7月9日開催） 参加者数：30名 ・コミュニティ・スクールについて ・放課後子ども教室について</p> <p>(2) おやじの会交流会（12月17日開催） 参加者数：14名 ひこべえの森冬のつどい内で実施</p> <p>(3) モルック教室 ・篠津小学校 12月6日 対象3～4年生 参加児童数17名 ・大山小学校 2月20日 対象全学年 参加児童数12名 ・南小学校 2月28日 対象3～4年生 参加児童数13名 ・西小学校 12月13日 第4学年全員を対象に、総合的な学習として実施 ・白岡東小学校 12月8日 対象3～4年生 参加児童数12名 ※「モルック」とは、フィンランド発祥の投擲競技で、長さ20cmほどの木の棒（モルック）を投げて、1から12までの番号が書かれた木のピン（スキットル）を倒して、得点を競う競技です。</p> <p>(4) かけっこ教室（全小学校全学年対象） ・総合運動公園 1月22日実施 ・講師 渡辺潤一氏</p> |
| 達成度 | A |
| 学識経験者の意見 | <p>地域の子育て支援組織である「町ぐるみん白岡」との共催で学校応援団交流会とおやじの会交流会が開催されたことは、このコロナ禍にあって評価に値する。これは、数を増やした支援団体が一堂に会したことに対する評価である。各団体（組織）が課題を共有し、連携・協力して活動するためにはこうした取組が欠かせない。また、別の支援組織であるASCにより「モルック教室」や「かけっこ教室」などが実施されたことは、子どもたちに楽しい時間を提供したはずである。これからも、イベント等を通して交流を深めて地域一体となった子育て支援の輪を広げる努力を続けてもらいたい。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>子育て・家庭教育に関わる団体や組織間で課題を共有し、協力しながら活動できるよう団体間の交流の機会をイベント等を通して設けるなど、子育て・家庭教育に関わる団体等と連携・協力し、地域一体となった子育て支援活動を促進していきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>A</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (1) これからの時代に求められる資質・能力の育成 |
| 施策の方向 | ① 確かな学力の育成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 課題発見・解決能力の育成 2 主体的・対話的で深い学びの充実 3 少人数指導の充実 4 教育補助員、ICT支援員の活用・拡充 5 全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法改善 6 教育課程研究推進委員会の開催 |
| 目標 | <p>児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実や、1人1台端末を活用して個別最適化した学びの充実など基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを充実し、課題発見・解決能力を育成していきます。また、そのための環境整備の充実に努めます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 課題発見・解決能力の育成 課題発見・解決能力の育成のため、市内全ての小・中学校において、学校研究課題を設定し、研究を進めました。校内研修に位置付けることにより、教職員全員の課題発見・解決能力の育成を図ることができました。 ・篠津小学校・・・共に深く学び合う児童の育成 ・菁莪小学校・・・主体的に考え、つなぎ、まとめる国語科指導法の研究 ・大山小学校・・・文章を正確に理解し、わかりやすく表現できる児童の育成 ～国語科の読む活動を通して～ ・南小学校・・・進んで、課題解決できる児童の育成(算数科) ～課題に対し、自ら立ち向かう力を育てる指導法の工夫～ ・西小学校・・・自ら学び、自分の考えをもって伝え合える児童の育成 ～学ぶ・わかる・生かす体験を通して～(国語科 説明文) ・白岡東小学校・・・認め合い、高め合い、未来を切り拓く児童の育成 ・篠津中学校・・・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ～GIGAスクール構想と個別最適な学びを目指して～ ・菁莪中学校・・・確かな学力の向上と人間性豊かな生徒の育成 ～全教科・領域を通じた授業改善～ ・南中学校・・・みんなでつくるみんなの南中の実現 ～県学力・学習状況調査等の分析を活かした学校づくり～ ・白岡中学校・・・子どもたちの可能性を引き出すための学びの実現を目指して ～ICT機器を利用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」～ 2 主体的・対話的で深い学びの充実【重点】 主体的・対話的で深い学びの充実を図るため、1人1台端末を活用した、「授業づくりの原点」に立ち戻って考えるような研修を各校において進めています。 このことにより、「児童生徒の思考がどのように広がり、深まっていくのか」「児童生徒にどのような支援が必要なのか」「個別、協働、一斉をどのように授業に取り入れるのか」等、授業づくりの研修の充実を図ることができました。 3 少人数指導の充実 少人数指導の充実のため、小学校4名、中学校6名配置している教科指導充実加配や、小学校2名、中学校5名配置している会計年度任用職員(教科指導補助・市費)を適切に活用しています。 このことにより、児童生徒の学力向上を図ることができました。 |

| | |
|---------------|---|
| 事業実績・成果 | <p>4 教育補助員、ICT支援員の活用・拡充 市内小・中学校の現状を把握し、教育補助員、ICT支援員の活用・拡充を行いました。</p> <p>このことにより、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の補助 小学校15名、中学校8名 ・理科支援員 全ての小学校に配置(3名) ・図書館補助 全ての小・中学校に配置(3名) ・日本語指導 対象の学校に配置(4名) ・教科指導補助 対象の学校に配置(7名) ・難聴言語指導 対象の学校に配置(1名) ・支援相談員 全ての小学校に配置(6名) ・さわやか相談員 全ての中学校に配置(4名) ・ICT支援員 全ての小・中学校にて支援(3名) |
| | <p>5 全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法改善 「全国学力・学習状況調査」及び「県学力・学習状況調査」の結果分析と指導方法の改善を各校で実施しました。また、校長会・教頭会において、白岡市全体の結果を周知し、指導方法改善に向けた具体的な取り組み方法についても指導をしています。</p> <p>このことにより、各校において学力向上の視点を踏まえた校内研修の充実が図られました。</p> |
| | <p>6 教育課程研究推進委員会の開催 教育課程研究推進委員会を12月16日(金)に開催しました。</p> <p>このことにより、小・中学校のICT活用について共通理解を図るとともに、各校の授業・研修に生かすことができました。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①埼玉県学力・学習状況調査の活用について(動画視聴 23分37秒) ②学力向上に係る効果的な取組事例をレポートにて発表 ③令和5年度における教育課程編成上の工夫・改善について口頭にて発表(例：行事の精選等による年間授業時数の確保) |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>1人1台端末を活用して「主体的・対話的で深い学び」の充実を図るために各校で研修を推進し、課題発見・解決能力の育成を図ったことを評価する。また、本市の児童生徒は、全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査において、全国平均・県平均を上回り高い学力を維持していることを評価する。</p> <p>今後は、「主体的・対話的で深い学び」の充実からその深化と恒常化を目指して「協働的な学び」を中心とした授業づくりの研修・実践が全ての学校において推進されることを期待する。そして、本市の全ての教室が誰もが互いにつながって学び合う教室であることを願う。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>主体的・対話的で深い学びの充実については、今後も協働的な学びを中心とした授業づくりについて、各校において研修を深めていきます。全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査において、全国平均・県平均を上回ることができるよう、ICTの活用や少人数指導の充実を今後も図っていきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (1) これからの時代に求められる資質・能力の育成 |
| 施策の方向 | ② 社会変化へ対応する力の育成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 情報モラル教育、情報活用能力の育成 2 A L Tを活用した授業の充実 3 キャリア教育の充実 4 I C T支援員の活用・拡充 5 主権者教育や消費者教育の推進 |
| 目標 | <p>国際化、情報化の進展に対応するため、1人1台端末の活用など児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。また、白岡市子どものネット利用宣言を活用し、児童生徒が自ら安全に情報を活用する姿勢を育てていくなど、情報モラル教育を推進します。A L Tを配置し、外国語科等の教科指導や国際理解教育の充実を図ります。変化し続ける社会でも生涯にわたって自ら学び続ける姿勢を育むため、キャリア教育の充実に努めるとともに、主権者教育、消費者教育の推進にも努めます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 情報モラル教育、情報活用能力の育成 白岡市子どものネット利用宣言のリンクを児童生徒の学習用iPadに貼り付け、いつでも確認ができる状態にしました。埼玉県ネットトラブル注意報を各校に配布しました。 このことにより、児童生徒及び保護者への啓発、教職員への研修に生かすことができました。 I C T端末の活用、セキュリティに関するオンライン研修を実施しました。 2 A L Tを活用した授業の充実【重点】 外国語（英語）指導講師（A L T）を配置し、外国語（英語）教育の充実につなげました。 小学校2名・中学校4名（各中学校に1名配置） 3 キャリア教育の充実 職場体験を2中学校（篠津中学校・白岡中学校）で実施しました。 各学校において、キャリアパスポートの活用を通じて一人一人のキャリア形成につなげました。 4 I C T支援員の活用・拡充 I C T支援員、G I G Aスクールサポーターを配置し、I C T機器の整備、活用につなげました。 I C T支援員2名（それぞれ週15時間） G I G Aスクールサポーター1名（週15時間） 5 主権者教育や消費者教育の推進 各学校において社会科の授業を中心に主権者教育、消費者教育を推進できるようリーフレット等の活用について周知するほか、セミナーの案内をしました。 中学校では、生徒会役員選挙の際に市の選挙用記載台や投票箱を使用して選挙を行う経験をしました。 このことにより、主権者教育の理解や、消費者教育の推進を図ることができました。 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>外国語教育、国際理解教育の充実のため、ALTを全中学校各1名、また、小学校6校に2名配置し、成果をあげていることを評価する。今後は、小・中の連携や授業時以外のALTの積極的な活用を促し、一層質の高い活用を期待したい。さらに小学校においても全ての学校の配置を期待する。</p> <p>1人1台端末を生かした教育活動を推進する上で、情報モラル教育は必須である。児童生徒、保護者への啓発及び教職員の研修の実施などに取り組んでいることが評価できる。今後、保護者への啓発が一層広く多くの保護者の心に届くものになることを期待する。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>1人1台端末を始めて令和5年度は3年目となります。タブレット端末を生かした学習活動では、各学校、各教員によって様々な取組がなされ、継続的に行われています。タブレット端末を学習に活かしている一方で、タブレットによって起こる生徒指導上の問題も増えています。教育活動を推進する上で、「情報モラル教育」は必須であり、今後も、児童生徒、保護者、教職員への啓発や研修を行います。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|---|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (2) 豊かな心、健やかな体の育成 |
| 施策の方向 | ① 体験活動の推進と豊かな心の育成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の充実と人権教育の推進 2 埼玉の子ども70万人体験活動 3 外部の指導者や講師の活用 4 保育所や高齢者福祉施設等地域との交流 5 規律ある態度の育成 6 読書活動の推進 |
| 目標 | <p>児童生徒の豊かな心を育むため、道徳の授業の充実を図るとともに埼玉の子ども70万人体験活動や地域の方々との交流などの体験活動を推進します。また、同和問題をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人、性的マイノリティ、ジェンダー等をめぐる人権問題やインターネットでの人権侵害など様々な人権課題に対応した人権教育を推進していきます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の充実と人権教育の推進【重点】 いじめ防止基本方針を各校のHPで公開するとともに、特別の教科道徳の授業の着実な実践や家庭用「彩の国の道徳」の周知を行いました。 このことにより、道徳教育の充実と人権教育の推進を図り、家庭への啓発等を行うことができました。 2 埼玉の子ども70万人体験活動 中学校における職場体験チャレンジや、全ての小・中学校で行われているみどりの学校ファーム等で体験活動を実施しました。 このことにより、思いやりの心や規範意識、学習意欲、目的意識、望ましい勤労観・職業観を育むなど、豊かな人間性や社会性など「生きる力」の基礎を築くことができました。 3 外部の指導者や講師の活用 稲作体験、文化体験学習など、地域の高齢者を招いての交流学习を実施しました。 地域の方との交流により、「ふるさと意識の醸成」を図ることができました。 4 保育所や高齢者福祉施設等地域との交流 中学校において、保育所体験学習を実施しました。 このことにより、思いやりの心や、親や周りの人に対する感謝の気持ちを育むことができました。 5 規律ある態度の育成 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、基本的な生活習慣（早寝・早起き、朝食）については、小・中学校ともに全国平均と比較して好ましい結果となっています。 各校においては、基本的な生活習慣の結果を保護者等にも周知し、さらなる定着を図ることができました。 6 読書活動の推進 ボランティア団体による児童生徒への読み聞かせや、学び支援課 学びあい図書館担当による児童生徒へのブックトークが行われました。 このことにより、各校において読書活動の推進を図ることができました。 |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>コロナ禍がいくぶん落ち着きを見せ始める中で、工夫をこらし対策を講じながら体験活動を従前に近い形で実施したことを評価する。特別な教科道徳を着実に実践したことと家庭用「彩の国の道徳」の周知により道徳教育の充実を図ったこと、そして人権教育の推進を図ったことを評価する。家庭用「彩の国の道徳」については、中学校における家庭への啓発が一層求められる。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>ウィズコロナのもと、各学校では工夫を凝らした対応を行ってきました。これからは外部指導者の活用や行事の精選など、さらなる工夫が求められます。 また、道徳教育においては、推進教員を核とした授業のボトムアップが求められます。 読書活動の推進は、ブックトークや図書室の活用だけではなく、ICTの効果的な活用も必要になります。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (2) 豊かな心、健やかな体の育成 |
| 施策の方向 | ②命を大切にす教育の推進 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の充実と人権教育の推進 2 いじめ防止基本方針の推進 3 教育相談の充実 4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化 5 SOSの出し方に関する教育の推進 |
| 目標 | <p>全教育活動を通じて道徳教育を推進し、児童生徒が命はかけがえないものであることを実感し、自他の命を大切にす教育を推進します。また、様々な悩みや困難を身近な人に相談できる体制づくりを充実していきます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の充実と人権教育の推進【重点】（再掲） 道徳教育の充実と人権教育の推進を図るため、道徳科のみならず、学校教育全体や家庭教育において様々な取組を行っています。 このことにより、学校のみならず、家庭においても、道徳教育や人権教育の推進を図ることができました。 ・いじめ防止基本方針（各校のHPで公開） ・特別の教科道徳の授業の着実な実践 ・家庭用「彩の国の道徳」の周知 2 いじめ防止基本方針の推進 いじめ防止対策推進委員会・定例会（4/27、8/3）にて、市内小・中学校において、「いじめ防止基本方針」に則り、適切に対応しているか協議しました。 このことにより、いじめ防止について校内体制の見直しを図ることができました。 3 教育相談の充実 教育相談の充実を図るため、各校で開催されている教育相談連絡会に指導主事が参加しました。また、電話や面談により保護者と教育相談を行いました。 このことにより、生徒指導・教育相談上、支援を要する児童生徒を把握するとともに、指導・対応について助言を行うことで、早期の解決を図ることができました。 ・教育相談連絡会の実施（小学校18回、中学校12回、合計30回） ・電話や面談による保護者との相談件数（小学校4件、中学校5件） 4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化【重点】 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを小・中学校に適切に配置しました。 このことにより、小・中学生や保護者からの相談に対応し、いじめ等の早期発見・早期解決の一助となりました。 ・支援相談員（全小学校に配置 6名） ・さわやか相談員（全中学校に配置 4名） ・スクールカウンセラーの配置（小学校1名、中学校に3名） ・スクールソーシャルワーカーの配置（教育支援センターに県費1名、市費1名の計2名） 5 SOSの出し方に関する教育の推進 国、県通知を市内小・中学校に周知するとともに、さわやか相談員やスクールカウンセラーの適切な配置を行いました。 このことにより、SOSを出しやすい環境を整備することができました。 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>教育相談の充実のため、各校が定期的に教育相談連絡会を実施し、それに指導主事も出席したことにより、早期解決に努めたことを評価する。 全小学校に支援相談員を、全中学校にさわやか相談員を、さらに中学校にはスクールカウンセラーを配置することにより、いじめ防止や不登校児童生徒対策にきめ細かに対応したことを評価する。可能であるならば、スクールカウンセラーを全中学校に配置し、小学校にも出向くことができるような環境が整うことを願う。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>今後も教育相談の充実のため、各校が定期的に行う教育相談連絡会に、指導主事やスクールソーシャルワーカーが出席し、指導・助言を行っていきます。いじめ防止や不登校児童生徒対策にきめ細かに対応するため、さわやか相談員やスクールカウンセラーを適切に配置し、小・中学校間で情報を共有し、早期に解決できるよう連携を深めていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------------|---|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (2) 豊かな心、健やかな体の育成 |
| 施策の方向 | ③いじめ防止対策の推進 |
| 主な取組 | 1. いじめ防止対策推進委員会の開催 2. 学級経営の充実 |
| 目標 | いじめ防止対策推進法に基づき、各学校で定められたいじめ防止基本方針を推進し、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに相談体制の充実を図ります。 |
| | <p>1. いじめ防止対策推進委員会の開催 市内小・中学校におけるいじめ防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のため、いじめ防止対策推進委員会を開催しました。 このことにより、いじめ防止等のための有効な対策について協議を図り、小・中学校に周知することで、いじめ防止について啓発を図ることができました。</p> <p>(1) いじめ防止対策推進委員会（定例会） 2回（4/27、8/3）開催 (2) いじめ防止対策推進委員会（臨時会） 13回（いじめ重大事態に係る聴き取り等）開催</p> <p>2. 学級経営の充実 学級経営の充実を図るため、夏季休業中に教科指導法研修会を実施しました。 このことにより、若手教職員の指導力向上を図ることができました。</p> <p>(1) 期日等 8月3日（水） 8:50～11:30 小学校教員対象（篠津小学校） 13:20～16:00 中学校教員対象（白岡中学校） (2) 対象者 学級担任及び副担任、教科担当教員 (3) 趣 旨 若手教員及び経験年数の少ない教員が、経験豊かな教員の指導法や児童生徒とのよりよい関係づくりについて学び、自らの指導力を向上させる。</p> |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>いじめ防止対策推進委員会（定例会）を着実に実施し、協議事項を各校に確実に周知することでいじめ防止について啓発を図ったことを評価する。</p> <p>しかし、白岡市において、いじめの重大事態が起きていることや、いじめ防止対策推進委員会（臨時会）による調査、報告書の作成が完了していないことから、適切に遂行するよう強く願う。</p> <p>また、いじめ防止に関する取組は、不断に継続することが何よりも大切であることから、学校と家庭・地域並びに行政機関が強く連携して子ども達を見守る体制をしっかりと築いていかなければならない。特に学校においては、いじめの未然防止・撲滅のための取組をこれまで以上に確実に推進することを強く願う。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | いじめ防止対策推進委員会については、今後も計画的に実施することにより、いじめ防止のための対策を学校に周知していけるよう、努めていきます。いじめの重大事態、臨時会による調査、報告書については、関係者と連携し、適切に進めていきます。 |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (2) 豊かな心、健やかな体の育成 |
| 施策の方向 | ④心身の健康の保持増進 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学校保健の充実 2 新体力テストの実施と結果の活用 3 感染症に関する指導の充実 4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化 5 ヤングケアラーの周知・支援 |
| 目標 | <p>新体力テストを実施し、その結果を分析することで児童生徒の体力向上に役立てていきます。部活動では白岡市部活動指導のガイドラインに基づいた活動を推進していきます。</p> <p>また、友人関係や進路、学校生活に悩む児童生徒だけではなく、保護者も教育相談を行えるさわやか相談員を各中学校に配置するほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも配置します。ヤングケアラーの周知・支援なども含め、教育相談体制の充実を図っていきます。</p> <p>第2期白岡市教育振興基本計画期間中に感染拡大した新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることから、児童生徒へ手洗いや咳エチケット、換気といった基本的な感染症対策指導を推進します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学校保健の充実 学校保健の充実を図るため、白岡市小・中学校体力向上推進委員会養護部会における、健康診断結果の取りまとめを行い、年度末には市内小・中学校に周知しました。 このことにより、各校の状況と市平均を比較するとともに、保護者への啓発や児童生徒への指導に生かしています。 ・白岡市小・中学校体力向上推進委員会の開催（年2回） 2 新体力テストの実施と結果の活用 新体力テストを実施するとともに、白岡市小・中学校体力向上推進委員会にて結果の分析を行いました。 このことにより、白岡市及び自校の課題を把握し、児童生徒の更なる体力向上に向け、各校において実践することができました。 ・新体力テストの全小・中学校による実施 ・白岡市小・中学校体力向上推進委員会における結果分析（年2回） 3 感染症に関する指導の充実 文部科学省、埼玉県からの通知を各校へ周知するとともに、学級閉鎖を行うにあたっては、基準を明確にし、管理職との連携を図り、適切に判断・対応を行いました。 このことにより、各校における感染症の拡大を未然に防ぐことができました。 4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化（再掲） 相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを適切に配置するとともに、教育指導課が相談員やスクールカウンセラー等との連携を密にし、児童生徒や保護者への対応を行いました。 このことにより、児童生徒や保護者の相談に対して、適切な対応や関係機関等との連携を図ることができました。 ・支援相談員（全小学校に配置 6名） ・さわやか相談員（全中学校に配置 4名） ・スクールカウンセラーの配置（小学校1名、中学校に3名） ・スクールソーシャルワーカーの配置（教育支援センターに県費1名、市費1名の計2名） 5 ヤングケアラーの周知・支援 国・県のヤングケアラーに関する通知を各校に周知しました。また、子育て支援課と連携し、夏季休業中の教職員全員研修会では、ヤングケアラーに関する研修会（講演）を行いました。 このことにより、ヤングケアラーに関する教職員の理解を深めることができました。 ・子育て支援課によるヤングケアラー実態調査の実施（9月） ・子育て支援課による民生委員、児童委員への研修の実施（2月） |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>新型コロナウイルス感染症に対して長期的な対応が求められている中、基本的な感染症対策を徹底し、各校における感染症の拡大を未然に防ぐことができたことを評価する。来年度以降、制限も緩和されていくが、基本的な対策を怠ることなく、子ども達が互いのぬくもりを感じながら本当にふれあいのある学校生活を送れることを願うばかりである。 ヤングケアラーが社会問題としてその喫緊性が高まっている。本市はいち早く教職員の全員研修会で取り上げ、教職員がヤングケアラーへの理解を深めたことを評価する。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>子どもたちの体力向上、運動に親しむことが課題です。コロナ対応により、思うように活動できなかったり、縮小・中止になった行事もある中、自校の課題を明確にした体育授業を行っています。 相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るために、適切な人員の配置と活用に取り組みます。 また、ヤングケアラーについては、子どものつぶやきに注意しながら、教員が積極的に児童生徒に関わっていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (3) 教職員の資質・能力の向上 |
| 施策の方向 | ①教職員の資質・能力の向上 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 人事評価制度を活用した人材育成や能力の向上 2 教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修 3 年次別研修による指導力向上 4 教職員の服務に関する研修会の実施 5 白岡市教育の日の実施 |
| 目標 | <p>教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修などの実施や、年次別研修の充実など、教職員の資質・能力の向上を図ります。また、人事評価制度を活用し、人材育成に努めます。</p> <p>児童・生徒、保護者、地域から信頼される学校を目指し、教職員の不祥事根絶に向け、服務に関する研修を行います。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 人事評価制度を活用した人材育成や能力の向上 市内小・中学校の校長においては、学校経営が適切に行われているかどうか、年間3回教育長、学校教育部長、教育指導課長と校長による面談を行いました。 このことにより、人事評価制度を活用し、人材育成や能力の向上を図ることができました。 ・当初面談 令和4年5月24日(火)、5月27日(金) ・中間申告面談 令和4年10月25日(火)、26日(水)、28日(金) ・達成状況面談 令和5年2月7日(火)、8日(水)、9日(木) 2 教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修【重点】 教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修(セキュリティ研修)について、令和5年1月～3月の間に実施しました。 このことにより、1人1台端末の活用2年目(令和4年度)においても、さらなる利活用を図ることができました。 3 年次別研修による指導力向上【重点】 各小・中学校とも新採用、2年次、7年次にあたる教員及び臨時的任用教員・任期付教員(※本市で初めて任用された者とする)を対象に、指導力の向上を図るため、教科や道徳、特別活動についての研究授業を行いました。 このことにより、新採用、2年次、7年次にあたる教員等の指導力向上を図ることができました。 4 教職員の服務に関する研修会の実施 教職員の服務に関する研修会については、夏季休業中に市内すべての小・中学校に教育指導課長及び指導主事が訪問し、教職員に対して直接、不祥事防止など服務に関する指導を行いました。 このことにより、教職員一人一人が不祥事をより自分事として捉えるようになりました。 5 白岡市教育の日の実施 白岡市教育の日の実施については、11月2日に、大山小学校及び南中学校において、研究発表会を行いました。市内すべての小・中学校教員が授業を参観するとともに(一部リモート)、研究協議会や指導主事による指導・講評も行われました。 このことにより、大山小学校及び南中学校の実践を他校においても活かすことができました。 |

| | |
|---------------|---|
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>GIGAスクール構想を推進する上で、教職員のICT、情報管理（含セキュリティ研修）研修は欠かすことができない。本市では計画的に開催し、スキルアップを図っていることを評価する。</p> <p>教員の質の低下が叫ばれる中、若手教員の育成は重要課題である。本市では新採用者、2年次、7年次にあたる教員の指導力を高めるため、研究授業を中心とした実践的研修を実施しており、このことは評価できる。今後、授業研究を中心に「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを一層深める研修となることを願う。また、中堅教員対象のミドルリーダー育成をねらいとした研修の一層の充実にも期待するところである。</p> <p>白岡市「教育の日」の研究発表会が対面で行われたことは喜ばしいことである。他校、さらには異校種の授業を市内の全教職員が実際に参観して学べる機会は決して多くはない。この取組は貴重であり、継続してほしい。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>白岡市「教育の日」の研究発表会については、対面で実施していくことができるようにし、異校種の貴重な交流の機会となるよう充実を図っていきます。教職員のICT活用能力や授業力の向上のために、授業研究を中心とした実践的な研究の機会を充実させていきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|--------------|--|
| 施策目標 施策項目 | 2 学校教育の充実 (3) 教職員の資質・能力の向上 |
| 施策の方向 | ②教職員の働き方改革の推進 |
| 主な取組 | 1 校務のICT化の推進や業務内容の精選 2 理科支援員、学校図書館支援員の配置 3 学校閉庁日の実施 4 持続可能な部活動の推進 |
| 目標 | 教職員が児童生徒と向き合うための時間や教職員自身の人間性や創造性を高める時間を確保し、より質の高い教育活動を実践することができるように支援します。そのために校務のICT化や業務の精選に取り組むことで勤務時間の適正化を図ります。また、各支援員の配置により、教職員の業務の負担軽減を行います。中学校の部活動については、委託団体を選定し、休日の部活動における段階的な地域移行を推進します。 |
| 事業実績・成果 | 1 校務のICT化の推進や業務内容の精選【重点】 7月29日(金)、市内小・中学校の教員に対し、コラボノートの活用法について指導主事が指導を行いました。また、12月16日に開催された教育課程研究推進委員会において、「学力向上に係る効果的なICT活用」や「業務内容の精選(行事の精選等による年間授業時数の確保等)」について協議を行い、優良事例を共有しました。 このことにより、校務のICT化の推進や業務内容の精選について共通理解を図り、各校の実践に生かすことができました。 |
| | 2 理科支援員、学校図書館支援員の配置 市内小・中学校に適切に配置し、授業準備や片付け、図書館整備などを行っています。 このことにより、教職員の負担軽減となりました。 ・理科支援員・・・市内全小学校に配置(3名) ・学校図書館支援員…市内全小・中学校に配置(3名) |
| | 3 学校閉庁日の実施【重点】 8月11日～8月16日を学校閉庁日としています。また、今年度から、県民の日である11月14日においても、学校閉庁日としました。 このことにより、今年度は更なる教職員の負担の軽減を図ることができました。 |
| | 4 持続可能な部活動の推進【重点】 令和3年度に引き続き、令和4年度においても地域クラブ活動を推進しています。令和4年度においては、卓球やバスケットボール、ソフトテニスなど運動部活動が9部活、合同部活動である吹奏楽が4部活動の計13部活において実施しました。また、新たにダンス部とプログラミング部を今年度から実施しています。教職員の希望(土・日の部活動指導を希望しない)に沿った指導員の配置を行いました。 令和3・4年度の実践研究により、一部の教職員の働き方改革の推進を図ることができました。 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>教職員の働き方改革は、国をあげて早急に解決していかなければならない課題である。本市は、業務内容の精選に早くから取り組んできており、実績がある。とはいえ、中学校では部活動の指導が教職員にとって、心身の負担を強めていることは過去から現在においても否定できるものではない。そのような課題を受け、本市では県内においていち早く昨年度から持続可能な部活動の推進に取り組んできている。地域クラブとして今年度は16部活動を実施し、さらには生徒の今日的なニーズに応じたダンス部とプログラミング部を実施したことなどを高く評価する。部活動を地域クラブへと移行すれば、それで中学校の働き方改革が完結するわけではないが、実に大きな一歩である。今後、研究実践を重ね、生徒も保護者も教員も納得できる形の地域クラブを実現していかなければならない。そうしてこそ初めて生徒としっかりと向き合う時間が確保され、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに勤しむことができる。加速度をあげて取り組んでほしい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>校務のICT化の推進（校務支援システムの導入・会議資料等のペーパーレス化等）によるさらなる業務改善や働き方改革を進めていきます。 専門性の高い教員・支援員を配置することによる質の高い教育の提供と、教職員の負担軽減や子供と向き合う時間の確保を行っていきます。 休日の部活動における段階的な地域移行を推進します。地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」を目指します。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|--------------|--|
| 施策目標 施策項目 | 2 学校教育の充実 (4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成 |
| 施策の方向 | ① 家庭・地域・学校の連携・協働 |
| 主な取組 | 1 学校運営協議会の設置と充実 2 学校運営協議会間の連絡体制の構築 3 学校応援団活動の推進 4 幼保小連絡会 5 持続可能な部活動の推進 6 学校ホームページによる情報発信の充実 7 学校公開の実施 8 「広報しらおか」等による情報発信の充実 |
| 目標 | 各学校のホームページや「広報しらおか」等による情報発信を充実させるとともに、学校公開を実施し、地域に開かれた学校づくりを行います。学校応援団の活用や学校運営協議会の設置と充実、学校運営協議会間の連絡体制の構築など、家庭・地域との連携・協働を図ります。幼稚園・保育所・小学校の連絡会を実施するなど、接続期の情報交換を充実させていきます。 また、休日の部活動の地域移行を推進し、専門性を有した地域人材を活用することで、生徒がより専門的な指導を受けられるようにします。 |
| 事業実績・成果 | 1 学校運営協議会の設置と充実【重点】 子どもたちをよりよく育てるための学校を応援し、地域の実情を踏まえた特色のある学校づくりを進めるため、全ての学校に学校運営協議会を設置し、年間3回会議を行いました。このことにより、学校における地域住民との連携・協働体制を組織的・継続的に確立することができました。 (1) 学校運営協議会の設置（令和4年度から） ・篠津小学校、大山小学校、西小学校、白岡東小学校、篠津中学校、白岡中学校 (2) 学校運営協議会の適切な運営 ・第1回の開催の際には、指導主事が会議に参加し、学校運営協議会の趣旨等について説明を行うことで、共通理解を図りました。 |
| | 2 学校運営協議会間の連絡体制の構築【重点】 学校運営協議会間の連絡体制を構築するため、教育委員会が主体となり、各校の学校運営協議会をつなぐ働きかけを行いました。このことにより、共通理解を図ることができ、各校の学校運営協議会の充実を図ることができました。 (1) 町ぐるみん白岡にて、教育指導課長がコミュニティ・スクールの趣旨等について説明しました。また、南小学校長による実践発表が行われました。（令和4年7月9日） (2) 実践報告会を開催し、優良事例のみならず、上手くいかなかった事例についても共有し、今後に生かしていくことができました。（令和5年2月） |
| | 3 学校応援団活動の推進 学校応援団活動を推進するため、国・県通知を周知するとともに、講演会についての案内や予算の配当をしました。このことにより、保護者や地域住民による学校の学習活動、安心・安全確保、環境整備などについて協力・支援の充実を図ることができました。 (1) 各校1万円の消耗品費の配当 |

| | |
|---------------|---|
| 事業実績・成果 | <p>4 幼保小連絡会 幼・保・小の連携については、国・県通知（子育ての目安「3つのめばえ」）を周知するとともに、アプローチカリキュラム（幼稚園・保育所等における5歳児の1月～3月）、スタートカリキュラム（小学校第1学年の4～6月）を作成しています。 このことにより、幼稚園・保育所と小学校とのスムーズな接続を図ることができました。 (1) 幼稚園・保育所、小学校によるアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの作成・見直し</p> |
| | <p>5 持続可能な部活動の推進（再掲） 令和3年度に引き続き、令和4年度においても地域クラブ活動を推進しています。令和4年度においては、卓球やバスケットボール、ソフトテニスなど運動部活動が9部活、合同部活動である吹奏楽が4部活動の計13部活において実施しました。また、新たにダンス部とプログラミング部を今年度から実施しています。 このことにより、持続可能な部活動の推進を図ることができました。</p> |
| | <p>6 学校ホームページによる情報発信の充実 各校において適時発信をしています。人事評価に係る面談においても、評価領域Ⅱ「開かれた学校づくり」の目標・方策等を確認し、適切に情報発信が行われるよう指導をしています。 このことにより、学校ホームページによる発信が適切に行われ、「地域とともにある学校づくり」が推進されています。</p> |
| | <p>7 学校公開の実施 学校公開の実施については、コロナ禍においても感染対策を講じた上で適切に実施されるよう市内小・中学校に対して指導を行いました。 このことにより、感染対策を講じた上で、適切に学校公開を行うことができました。</p> |
| | <p>8 「広報しらおか」等による情報発信の充実 「広報しらおか」等による情報発信については、例年発信している事だけではなく、新たな事業「夢の教室」について、表紙及び見開き2ページ発信しました。 また、教育指導課のホームページにおいて、教育に関わる情報を広く市民に周知しています。 このことにより、学校教育について、広く市民に周知することができました。</p> |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>今年度をもって、全小中学校に学校運営協議会を設置することができた。定期的に会議を開催し、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりの推進に大きく寄与している。また、教育委員会が主体となって各学校運営協議会間をつなぐ役割を果たした。このことは大きく評価できる。今後は、設置からその充実へと一層盤石な組織として発展することを期待する。そのために、一人でも多くの保護者、地域住民に正しく深い理解をもらうための啓発活動を継続的に行っていくことが大切であると考えます。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>全小中学校に設置となった学校運営協議会については、今後も定期的な会議の開催により、家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成を目指していきます。学校公開やホームページ、広報しらおかを活用した情報発信については、教育委員会と学校が連携し、更なる充実を図っていきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成 |
| 施策の方向 | ② ふるさと意識の醸成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 埼玉の子ども70万人体験活動 2 白岡歴史・史跡研修会 3 小学校社会科副読本「しらおか」の活用 4 大学と連携した給食メニュー開発 |
| 目標 | <p>小学校社会科副読本「しらおか」を活用し、ふるさと白岡に対する理解を深める教育の充実を図ります。加えて、大学と連携した地元食材を活用した給食メニューを提供するなど、ふるさと意識の醸成を図ります。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 埼玉の子ども70万人体験活動（再掲） 市内小・中学校に県通知の内容を周知し、地域性を活かした取組を行っています。体験活動の状況については、各校でまとめ、教育指導課において掲示をしました。 このことにより、生活科や総合的な学習の時間を中心に、児童生徒の体験活動の充実が図られました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2 白岡歴史・史跡研修会 7月29日、初任者を対象に、学び支援課 担当者による「ふるさと白岡」に係る研修を行いました。 このことにより、児童生徒を指導する教職員自ら白岡市の歴史に触れることで、ふるさと意識の醸成を図ることができました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3 小学校社会科副読本「しらおか」の活用 社会科副読本編集委員会を3回開催し、「ICTの効果的な活用」「年間指導計画の充実」に向け、取り組みました。 このことにより、小学校3・4年生に対して、学習指導要領に則った社会科の授業を行うことができました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 4 大学と連携した給食メニュー開発 女子栄養大学学校給食・食育研究室と連携し、埼玉県産品の啓発や地場産物を使用した家庭で作れるレシピを給食だよりに掲載しました。 このことにより、児童・生徒のふるさと意識の醸成を図りました。 (令和5年2月号及び3月号で実施) |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>児童にふるさと意識を身に付けさせるためには、小学校3・4年生での社会科授業で郷土理解を深めさせるところが大きい。とりわけ社会科副読本「しらおか」の活用は大切である。副読本の編集に際し、編集委員会を3回開催し現場の教員の声を反映させて編集していることは意義がある。特に、県内でもいち早くデジタル版を作成し、それを端末タブレットにインストールして活用していることは高く評価できる。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>小学校社会科副読本「しらおか」の活用については、今後も編集委員会を定期的に開催していくことにより、教職員の声を反映させ、子ども達の学びが深まるような資料となるよう、充実を図っていきます。埼玉の子ども70万人体験活動については、地域の人材を活用し、充実した活動となるよう、実施方法や内容について検討を進めていきます。 令和5年度は、これまでコロナ禍により中止としていた女子栄養大学との交流を再開します。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課・教育総務課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備 |
| 施策の方向 | ①教育環境の整備・充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 1人1台端末の利活用に向けた学校の通信環境の整備 2 小・中学校施設の計画的な改修などを実施 3 安全確保のための学校施設点検の実施 |
| 目標 | <p>GIGAスクール構想の推進を踏まえ、学校における通信環境の整備を行います。学校図書館については、蔵書の質・量の両面から充実を図り、児童生徒の読書活動や調べ学習などに資するものとしていきます。</p> <p>児童生徒数の推移に合わせた学校規模の適正化について総合的に検討します。</p> <p>令和4年度は小学校2校（篠津小・西小）の校舎について外壁の劣化状況調査を実施し、危険箇所がある場合には緊急修繕を実施します。また、職員の目視及び打診による安全点検を継続実施します。（月2校）</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 1人1台端末の利活用に向けた学校の通信環境の整備 学校の通信環境の整備のため、学校からの修理依頼等に対し、GIGAスクールサポーターやICT支援員が適切に対応しました。 このことにより、児童生徒が1人1台端末を活用した学習を進めることができました。 (1) GIGAスクールサポーター1名 (2) ICT支援員2名 2 小・中学校の計画的な改修の実施 令和4年度に実施した主な改修工事としては次の2点となります。 ・市立小・中学校廊下流し自動水栓化改修工事（10校 廊下流し1か所に原則2基） ・市立小・中学校体育館照明LED化改修工事（ESCO事業の一環） これら工事の実施により、小・中学校の手洗い時の感染防止対策の強化と体育館での学習環境の向上及び電気使用量の削減をすることができました。 3 安全確保のための学校施設点検の実施【重点】 市立小学校2校（篠津小学校、西小学校）の一部校舎について、赤外線・打診併用による外壁の劣化状況調査を実施しました。調査時点では危険性の高い箇所は無いと判断されたため、経過観察をしています。 職員の目視による安全点検については、各校3回の点検を実施したものです。 |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>計画的に小中学校の改修が実施されている。感染症対策の一環として自動水栓化が進められていることを評価する。可能な限り早く、全ての水栓が自動水栓に更新されることを期待する。</p> <p>体育館の照明が全てLEDに更新され、学習環境が改善するとともに、電気使用量が削減できたことが評価できる。</p> <p>劣化が進む校舎の外壁について現況調査を行い、安全確保に努めている。経過観察を計画的に継続してもらいたい。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>学校の通信環境の整備のため、学校からの修理依頼等に対し、GIGAスクールサポーター1名及びICT支援員2名が対応しましたが、年度末の繁忙期においては人数が足りませんでした。</p> <p>今後、年度末・年度当初の繁忙期はGIGAスクールサポーターを任用するとともに、端末更新作業マニュアルを作成する等、移行作業を適切に行っていきます。</p> <p>小・中学校の安全確保のための外壁劣化状況調査は、継続して実施していきます。</p> <p>職員の目視及び打診による安全点検についても、定期的な実施により安全確保に努めます。</p> <p>また、学校施設の計画的な改修及び改築を行うため、市長部局との連携による「学校施設を含む公共施設の再編計画」の策定を進めていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育総務課・教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備 |
| 施策の方向 | ②安全安心の確保 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 安全教育の推進 2 各校での危機管理マニュアルの見直し 3 実効的な避難訓練の実施 4 防犯パトロールと防災しらおかの放送による安全の呼びかけ 5 学校メール配信システムによる不審者情報等の周知 6 子ども110番の家の設置の推進 7 スクールガードリーダー・防犯ボランティアによる見守り |
| 目標 | <p>頻発する自然災害や感染症対策等を踏まえ、各校での危機管理マニュアルの見直しを行うとともに、実効的な避難訓練を実施するなど児童生徒が自らの命を守ることができるよう防犯・防災教育を推進していきます。また、スクールガードリーダー、防犯ボランティアなどとともに、地域ぐるみで子どもたちの安全を守ることができるようにします。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 安全教育の推進【重点】 安全教育の推進について、市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、校長会・教頭会においても、学校の施設・設備を含めた安全管理の徹底について指導を行いました。 このことにより、現時点では大きな事故もなく、学校運営が行われています。また、学校においては、学級活動や保健体育の授業、交通指導員による交通安全教室（横断歩道の渡り方、自転車の乗り方）など、学校教育全体で安全教育が行われています。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2 各校での危機管理マニュアルの見直し 各校での危機管理マニュアルの見直しについて、市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、校長会・教頭会においても、学校の危機管理マニュアルの定期的な見直しを図るよう指導を行いました。見直し後のマニュアルは、教育指導課で確認しています。 このことにより、現時点では大きな事故もなく、学校運営が行われています。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3 実効的な避難訓練の実施 市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、校長会・教頭会においても、内容の見直し等において指導を行いました。 このことにより、より実効性のある避難訓練（休み時間における地震）を実施することができました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 4 防犯パトロールと防災しらおかの放送による安全の呼びかけ 防犯パトロールと防災しらおかの放送による安全の呼びかけについて、適宜教育指導課職員による防犯パトロールを実施しています。また、防災しらおかの放送については、市内小学校代表児童による録音・放送を行い、下校後の安全について注意喚起を行っています。 このことにより、児童生徒の安全確保について、児童生徒や保護者、地域住民への啓発を図ることができました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 5 学校メール配信システムによる不審者情報等の周知 学校メール配信システムによる不審者情報等の周知については、教育指導課に入った不審者情報等を学校に周知し、学校から保護者に対しメール配信を行っています。 このことにより、保護者への啓発を図ることができました。 |

| | |
|---------------|---|
| 事業実績・成果 | <p>6 子ども110番の家の設置の推進 校長会・教頭会においても、児童生徒へ「子ども110番の家」の理解・促進を図るよう指導をしています。 このことにより、児童生徒一人一人が、登下校時の安全確保（自分の身は自分で守る）について理解を深めました。 ・子ども110番の家 登録件数368件</p> |
| | <p>7 スクールガードリーダー・防犯ボランティアによる見守り スクールガードリーダー・防犯ボランティアによる見守りについて、市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、スクールガードリーダーによる見守り報告を確認し、実効性のある取組となるよう指導を行っています。 このことにより、さらなる安心・安全への体制を整えることができました。 ・市内全ての小学校に、1人ずつスクールガード・リーダーを配置</p> |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>教育委員会が主体となって、校長会・教頭会において、施設設備を含めた安全管理の徹底について指導を行ってきたことで大きな事故なく学校運営が行われていることを評価する。また、学校教育全体で児童生徒への安全教育が行われ、大きな事故が起きていないことを評価する。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>子どもたちの安心・安全のため、引き続き地域の方々の協力を得ながら、今後も防犯パトロールなどの充実を図り、子どもたちを見守っていきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (6) 多様なニーズに応える教育活動 |
| 施策の方向 | ①特別支援教育の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援学級の整備 2 通級指導教室の充実 3 教育補助員の活用・拡充 4 指導主事等による巡回相談 5 就学支援委員会の開催 6 インクルーシブ教育の推進 7 特別支援学校のセンター的機能の活用 |
| 目標 | <p>県立特別支援学校のセンター的機能を活用し、特別な支援が必要な児童生徒への支援方法の充実、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、特別支援学級の整備や通級指導教室の充実を推進します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援学級の整備 各小・中学校に特別支援学級を適切に設置するため、学校との連携や保護者との就学相談を実施しました。 このことにより、各校において、児童生徒の特性に応じた特別支援学級を整備することができました。 ・篠津小（知的学級1、自閉情緒学級1、難聴言語通級指導教室1） ・菁莪小（知的学級1、自閉情緒学級1） ・大山小（知的学級1、自閉情緒学級1） ・南小（知的学級1、自閉情緒学級2、肢体不自由学級1） ・西小（発達障害・情緒障害通級指導教室1、知的学級2、自閉情緒学級2） ・白岡東小（発達障害・情緒障害通級指導教室1、知的学級1、自閉情緒学級1） ・篠津中（知的学級1、自閉情緒学級1） ・菁莪中（知的学級1、自閉情緒学級1） ・南中（知的学級1、自閉情緒学級1） ・白岡中（知的学級1、自閉情緒学級1） 2 通級指導教室の充実 通級指導教室の充実を図るため、通級指導教室設置校（篠津小、西小、白岡東小）と、児童の在籍校との連携を図ることができるよう制度を整えました。 このことにより、現在の状況について在籍校が適切に把握することができ、対象児童への指導・対応に生かすことができました。 ・篠津小（難聴言語通級指導教室） ・西小（発達障害・情緒障害通級指導教室） ・白岡東小（発達障害・情緒障害通級指導教室） 3 教育補助員の活用・拡充 補助員等を適切に配置・活用できるよう、教育補助員が、毎日業務内容を記録するとともに月末には教育指導課において確認しています。内容によっては、校長に指導する等、より適切な運用を行いました。 このことにより、児童生徒への指導・対応が適切に行うことができました。 ・生活補助員（小・中学校）22名 ・支援相談員 6名 ・さわやか相談員 4名 |

| | |
|---------------|--|
| 事業実績・成果 | <p>4 指導主事等による巡回相談 指導主事や就学支援委員会委員による巡回相談（児童生徒の状況確認、教職員への指導）を行いました。 このことにより、特別に支援を要する児童生徒への適切な指導・対応について共通理解を図ることができました。 ・全小・中学校に対して実施（小学校9回、中学校4回）</p> |
| | <p>5 就学支援委員会の開催 就学支援委員会を年間4回開催しました。 このことにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズ（特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室）に応ずることができました。 ・年間4回の実施</p> |
| | <p>6 インクルーシブ教育の推進 インクルーシブ教育の推進を図るため、交流学級及び支援籍学習を行いました。 このことにより、より一層特別支援教育への理解を深めることができました。 ・各学校における交流学級の実施 ・支援籍交流の実施（菁莪中学校、南小学校、西小学校）</p> |
| | <p>7 特別支援学校のセンター的機能の活用 特別支援学校のセンター的機能を活用するため、久喜特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りました。 このことにより、児童生徒の現状を把握し、指導・対応について、教職員へ助言等を行うことができました。 ・全小・中学校への巡回相談の実施（小学校12回、中学校4回）</p> |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>全小・中学校に特別支援学級を設置し、教育補助員の活用や県立特別支援学校との連携、計画的な巡回指導等により特別支援教育の充実を図っていることを評価する。また、近年の状況を踏まえて通級指導教室を3学級設置し、対象児童の指導が適切に行われていることを評価する。一方でこの教室を担当する教員には高い専門性が必要なので継続的に研修を行ってほしい。さらに、見通しをもって担当できる教員の育成に努めてほしい。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>通級指導教室「こすも」「すばる」、言葉の教室の3つを担当する教員は、高い専門性が求められます。常日頃から研修への参加や、自己研鑽を積まなくてはなりません。また、全小・中学校の特別支援学級を担当する教員にも同じことが言えます。子どもたちを取り巻く環境、社会情勢の変化に適應することが求められています。 今後は、会計年度任用職員の活用や交流学級との密な連携をはじめ、巡回指導を活かしていくことが大切になります。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (6) 多様なニーズに応える教育活動 |
| 施策の方向 | ②不登校児童生徒への支援 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 教育支援センターの充実 2 教育相談の充実 3 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化 |
| 目標 | <p>様々な理由から不登校となっている児童生徒やその保護者、教職員からの相談に応じ、適切な支援を行っていくため、引き続き相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制の充実を図ります。</p> <p>また、不登校児童生徒の社会的自立に向けた集団適応指導、学習指導等を行い、教育支援センターの充実に努めます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 教育支援センターの充実【重点】 教育支援センターの充実を図るため、市内小・中学校の不登校児童生徒数や各校の教育相談件数等を鑑み、適切な人員を配置しました。また、令和4年度から常勤の所長を任用するとともに、長期休業中においても、相談業務を行いました。 このことにより、教育支援センターにて、児童生徒の学習支援、保護者相談、発達検査等、適切な運営を行いました。 ・現在18名の児童生徒が通室 ・所長1名、支援員5名・相談員等4名の配置 ・教育支援センター教育長・教育委員訪問(1回) 2 教育相談の充実(再掲) 教育相談の充実を図るため、各校で開催されている教育相談連絡会に指導主事が参加しました。 このことにより、生徒指導・教育相談上、支援を必要とする児童生徒を把握するとともに、指導・対応について助言を行うことで、早期の解決を図ることができました。 ・教育相談連絡会の実施(小学校18回、中学校12回、合計30回) 3 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化(再掲) 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを小・中学校に適切に配置しています。 このことにより、小・中学生や保護者からの相談に対応し、早期発見・早期解決の一助となっています。 ・支援相談員(全小学校に配置 6名) ・さわやか相談員(全中学校に配置 4名) ・スクールカウンセラーの配置(小学校1名、中学校に3名) ・スクールソーシャルワーカーの配置(教育支援センターに県費1名、市費1名の計2名) |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>不登校児童生徒数の増加は、国全体で見られる課題となっている。本市では教育相談体制の充実を図って対応しているが、特に教育支援センターの役割は大きい。適切な人員配置や今年度より常勤の所長を任用するなどして着実な運営ができていることを評価する。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>不登校児童生徒が増えています。教育相談の体制を見直し、教育支援センターと密に連携を取り、対応しています。しかし、社会の変化や友人関係など、複数の要因からなることもあり、複雑化しています。 これからもスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーをはじめ、各学校との連携を強化していきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------------|--|
| 施策目標 | 2 学校教育の充実 |
| 施策項目 | (6) 多様なニーズに応える教育活動 |
| 施策の方向 | ③外国人児童生徒・帰国児童生徒への支援 |
| 主な取組 | 1. 児童生徒の日本語指導の補助 |
| 目標 | 日本語指導が必要な児童生徒に対して、日本語指導補助員を配置できるよう必要な人材を確保し、支援の充実を図ります。 |
| 事業実績・成果 | <p>1. 児童生徒の日本語指導の補助</p> <p>児童生徒の日本語指導のため、会計年度任用職員を4名、6校に配置しました。このことにより、対象児童生徒11名の日本語活用能力の向上を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠津小学校（会計年度職員1名）・・・対象児童1名（4年生）週1回2時間 ・菁莪小学校（会計年度職員1名）・・・対象児童1名（1年生）週2回1時間ずつ ・南小学校（会計年度職員1名）・・・対象児童2名（3年生2名）週1回2時間 ・菁莪中学校（会計年度職員1名）・・・対象生徒2名（1年、2年）週2回1時間ずつ ・南中学校（会計年度職員1名）・・・対象生徒4名（1年3名、2年1名）週2回3時間ずつが3名 月1回1時間が1名 ・白岡中学校（会計年度職員1名）・・・対象生徒1名（1年）週1回1時間 |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | 本市においても外国人児童生徒数は年々増加している。対象児童生徒が1日も早く級友との仲を深め、学級に適應できるよう日本語指導補助員を適切に配置していることを評価する。今後は、多様化が一層進むことが予想されるので多くの言語に対応できるよう人材を確保しておくことが望まれる。 |
| 課題 今後の対応方針 | 外国人児童生徒数は年々増加しており、通常の学校生活においても言葉による障がいで悩んでいる子が多い状況です。今現在、週に1～2回個別指導により日本語を指導する時間を設けていますが、今後はその指導によってどの程度の成果があったのか、またどのように子供が変容したかについても把握し、更なる指導の向上につなげていきます。 |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 教育指導課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|---|
| 施策目標 | 2学校教育の充実 |
| 施策項目 | (6) 多様なニーズに応える教育活動 |
| 施策の方向 | ④経済的支援 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 就学援助制度（白岡市就学援助費の受給者に臨時給付金支給事業を併せて実施） 2 特別支援教育就学奨励制度 3 入学準備金貸付制度 |
| 目標 | <p>経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助制度、特別支援就学奨励制度、入学準備金貸付制度などの支援制度があります。これらの制度の周知に努め、保護者の経済的負担の軽減を図ります。また、併せて新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う深刻な経済的影響等を踏まえ、白岡市就学援助費の受給者を支援するために臨時給付金を支給します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 就学援助制度（白岡市就学援助費の受給者に臨時給付金支給事業を併せて実施） <ul style="list-style-type: none"> 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学援助費を支給しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う深刻な経済的影響等を踏まえ、白岡市就学援助費の受給者を支援するため、併せて臨時給付金を支給しました。 このことにより、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、適切に支援することができました。 (1) 就学援助費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 10,224,970円（要保護7名、準要保護154名） ・ 中学校 5,532,710円（要保護8名、準要保護75名） (2) 就学援助費受給者に対する臨時給付金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 1,540,000円（154名） ・ 中学校 750,000円（75名） (3) 就学援助費受給者に対する物価高騰支援臨時給付金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 1,500,000円（150名） ・ 中学校 720,000円（72名） 2 特別支援教育就学奨励制度 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級在籍の特殊性を考慮し、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況に応じ、就学奨励費を支給しました。 本制度については、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して制度の概要を通知し、周知に努めました。 このことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができました。 ・ 小学校 1,247,053円（46名） ・ 中学校 1,008,457円（22名） 3 入学準備金貸付制度 <ul style="list-style-type: none"> 広報しらおか11月号及びホームページにおいて貸付けのお知らせを掲載するとともに制度の周知を図りました。12月15日から1月16日までの間、申請の相談及び受付を行いました。入学準備金の調達が困難な方に経済的な支援の情報提供ができました。（申請者 0人 ※申請の相談はあり） |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>本市では、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助制度、特別支援教育就学奨励制度、入学準備金貸付制度などを講じて経済的支援を行っていることを評価する。特に今年度、新型コロナの感染拡大に伴う経済困難の支援のために就学援助費の受給者に臨時給付金を支給したことは喜ばしいことである。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>1 就学援助制度 義務教育の円滑な実施を図るため、真に援助を必要とする児童生徒の保護者に対して、必要な援助が適切な時期に受けられるよう、就学援助制度の周知に努めていく必要があります。 また、今後、災害や感染症拡大等の社会的急変に伴い深刻な経済的影響が生じた場合に、児童生徒の保護者に対し適切な支援が行われるよう、国及び県の動向に注視しながら、同制度の適切な運用及び充実を図る必要があります。</p> <p>2 特別支援教育就学奨励制度 特別支援教育の普及奨励を図るため、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図られるよう、就学奨励制度の周知に努めていく必要があります。 また、今後の特別支援教育に係る国及び県の動向に注視しながら、同制度の適切な運用及び充実を図る必要があります。</p> <p>3 入学準備金貸付制度 入学準備金の調達が困難な方に必要な情報を届けることが出来るよう制度の周知や募集の広報を広く行う必要があります。 引き続き市ホームページや広報紙での周知を図るとともに、支援を必要とする方へ十分な情報が行き届くよう方法を検討し周知に努めていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>教育指導課・教育総務課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|--------------|---|
| 施策目標 施策項目 | 3 社会教育の充実 (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実 |
| 施策の方向 | ①生涯学習活動の推進 |
| 主な取組 | 1 ペアーズ!しらおかの拡充 2 社会教育委員会議の開催 3 生涯学習情報の提供 4 社会教育関係団体の支援・利用促進 5 公民館講座の充実 6 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携 |
| 目標 | 生涯学習体系「ペアーズ!しらおか」の普及に努めるとともに、その中核となるペアーズアカデミー、公民館講座を開催します。 ペアーズバンクの充実を図ります。 社会教育関係団体に補助金を交付し、社会教育活動を行う団体の事業を支援します。 |
| 事業実績・成果 | 1 ペアーズ!しらおかの拡充 生涯学習事業の基幹となる、ペアーズアカデミーをはじめ、多種多様な内容の講座を開催することで、市民に対し広く学習機会を提供することができました。 また、本年度から新たに、大人を対象とした自然観察会を開催しました。 (1) ペアーズアカデミー 6講座15回 延べ251名 (2) 学校開放講座 埼玉県立白岡高等学校「葉脈標本をつくる」 12月4日 5組11名 (3) 大人の自然観察会 ひこべえの森 春の自然観察会 5月7日 12名 |
| | 2 社会教育委員会議の開催 市の社会教育行政について、社会教育委員を通して、広く市民の意見を反映することができました。 社会教育委員会議の開催 【2回(6月14日、3月24日)】 |
| | 3 生涯学習情報の提供 生涯学習関連事業への市民参加を促進するため、白岡市生涯学習ガイドを発行し、市民に対し、生涯学習情報を広く提供することができました。 (1) 生涯学習ガイドの発行 2回(4月、10月に全戸配布) (2) ペアーズバンク リーダー 延べ53名 サークル 26団体 |
| | 4 社会教育関係団体の支援・利用促進 補助金の交付により、文化祭の開催や文連だよりの発行をすることができ、芸術・文化活動の充実、発展に寄与する活動を支援することができました。 ・社会教育関係団体補助金交付 【1団体(白岡市文化団体連合会)】 |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>事業実績・成果</p> | <p>5 公民館講座の充実 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う利用制限を解除したことに伴い、コロナ禍以前と同様の講座の開催が可能となりました。シニア向けのスマートフォン講座を中心としたIT講座や健康維持を目的とした運動の講座が人気を集めました。 しかしながら、その他の文化系の講座については応募が定員を下回るが多い状況です。新型コロナ禍の収束が見られない影響から受講者の参加意欲が低下しているように思われます。</p> <p>(1) 公民館前期講座 (全20講座、計64回、延べ507名)</p> <p>ア IT講座 5講座 計20回 延べ180名 イ 運動講座 3講座 計12回 延べ110名 ウ 趣味講座 3講座 計6回 延べ30名 エ 学習講座 2講座 計9回 延べ26名 オ 生活講座 2講座 計6回 延べ59名 カ 市民企画講座 1講座 計4回 延べ64名 キ 夏休み親子講座 1講座 計1回 3組6名 ク 夏休み子ども講座 3講座 計6回 延べ32名</p> <p>(2) 公民館後期講座 (全16講座、計51回、延べ430名)</p> <p>ア 運動講座 1講座 計4回 延べ39名 イ 生活講座 2講座 計8回 延べ59名 ウ IT講座 4講座 計16回 延べ120名 エ 趣味講座 5講座 計9回 延べ81名 オ 市民企画講座 4講座 計14回 延べ131名</p> |
| | <p>6 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携した講座等の開催により、市民の生涯学習活動の推進を図ることができました。</p> <p>(1) 生涯学習機能、図書館機能の連携 各講座実施時に関連図書の展示</p> <p>(2) 生涯学習機能、資料館機能の連携 ア ペアーズアカデミー ・連携講座「商店街のお宝を探る」 11月10日、17日、24日 延べ42名 ・文化「遺跡から見る過去の暮らし」 12月14日、21日 延べ30名 イ 親子おもしろミュージアム (ウィークエンドいきいき体験教室事業共同開催) ・藍のたたき染め教室 8月7日 11組25名 ・だるまさんを作ろう 2月11日 5組12名</p> <p>(3) 図書館機能、資料館機能の連携 ギャラリー企画展 (商店街のお宝を探る) 連携おはなし会 10月22日、11月12日、19日 延べ33名</p> |
| <p>達成度</p> | <p>B</p> |
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>「学び楽しむまち」づくりのためにも、市民の意向やニーズに合わせた学習機会を提供していくことは大変重要である。今年度も、「ペアーズ!しらおか」や公民館講座のなかで、歴史・文化に限らず様々な講座が実施された。なかには市民企画講座「これからの暮らしに役立つ講座」として、「高齢期のこころ整理術」、「お葬式」、「防災」、「家族介護」など市民の意向やニーズに合わせたものもあった。</p> <p>しかし、コロナ禍の影響からか参加者数は減少傾向にある。この問題の解決は困難だと思うが、人気のテーマを数多く設定したり、受講方式を工夫したり、多くの市民が参加しやすい学習機会の提供に努めてもらうとともに、デジタル情報の利用が困難な年齢層に対しても情報が届くような工夫をしてほしい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>引き続き、市民の多様なニーズに対応した学習メニューや生涯学習に関する情報提供を推進していきます。</p> <p>また、中央公民館では、利用者・利用団体減少の課題に対し、仲間づくり及びサークル化につなげるため、令和5年度は新しい取組として、人気のある講座を通年で開催する予定です。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実 |
| 施策の方向 | ②生涯学習施設・設備の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習センターの適正な維持管理 2 中央公民館の適正な維持管理 |
| 目標 | 生涯学習センター〔こもればの森〕及び中央公民館の適正な維持管理を行い、市民の生涯学習活動の場を提供します。幅広いニーズに対応したサービスの提供を図るとともに、家庭・地域・学校などと連携した生涯学習環境の充実に努めます。 |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習センターの適正な維持管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点として、生涯学習センターの適切な管理運営を図ることができました。 入館者数は、新型コロナ禍前の状況に戻っており、令和5年中には100万人に到達する見込みです。 ・令和4年度の入館者数 243,903名 (2) 自衛消防活動により火災等の被害を最小限にとどめるため、年2回、消防署の立会いによる消防訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練）を実施しました。 下半期の訓練を1月26日の文化財防火デーという防災に関心の高まる時期をとらえて実施したことにより、職員に対する防災教育の効果が上がるとともに、初期消火をはじめとする自衛消防活動の重要性を認識することができました。 2 中央公民館の適正な維持管理【重点】 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う利用制限を全ての部屋において解除したことにより活動を再開する団体がある一方で、新型コロナ禍に伴う活動意欲の低下や会員の減少により解散や活動休止する団体も散見されましたが、1月以降徐々に活動を再開する団体が増え、活気をとりもどしつつあります。 利用者数は前年同時期より上回っているものの、コロナ禍前までの利用者数に満たない状況が続いております。 ・令和4年度の入館者数 34,370名 (2) IT機器に対応するため、Wi-fiを設置しました。 (3) 公民館は悪天候における災害時や、地震等の際の避難所となっていることから、安心安全課と連携をとり、緊急時の体制づくりに努めました。 (4) 安心・安全な施設を目指し、年に2回の消防訓練（通報・避難誘導・初期消火訓練）を実施しました。（9月27日、3月10日） |
| 達成度 | C |
| 学識経験者の意見 | <p>生涯学習センター〔こもればの森〕は、年間に約20万人という多くの市民が利用する施設である。いうまでもなく、施設の適正な維持管理は日頃の点検などが欠かせない。また、防災の備えも重要となる。市民の生涯学習の場であるからこそ、今後も利用者の安心・安全を守るために、安定的な運営を目指して日常業務に取り組んでもらいたい。</p> <p>中央公民館については、利用者数がなかなかコロナ禍以前に戻らない状況であるということだが、安心・安全な施設であることは最優先で取組んでほしい課題である。こうした施設は、家庭・地域・学校などと連携した生涯学習の場として快適に利用してもらえよう運営に配慮してもらいたい。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>生涯学習センター〔こもればの森〕の適正な維持管理を行い、市民の生涯学習の場を提供していきます。 中央公民館においては、コロナ禍で相次いだ団体の解散により減少してしまった利用者を再び呼び戻すことが大きな課題であり、利用団体の新設を促す取り組みを検討しています。 また、市民が安心・快適に利用できる生涯学習の場としての環境を整備する必要があるため、細やかなメンテナンスを予定しています。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>C</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実 |
| 施策の方向 | ③ 図書館機能の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 計画的な資料の収集、提供 2 レファレンスサービスの充実 3 多様なニーズに対応したサービスの充実 4 バリアフリーサービスの充実 5 図書館資料、設備を活用した多種多様な学びの機会の提供 6 市民との協働による事業の実施 |
| 目標 | <p>効率的、計画的な資料の収集と提供を行うとともに、レファレンスサービスの充実を図ります。</p> <p>社会や時代に即した図書の特集展示や、多種多様な学びの場の提供を行います。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 計画的な資料の収集、提供 市民の幅広いニーズに対応する資料の収集・提供を行いました。 (1) 総資料数 163,797点 (3月末現在) (2) 貸出人数 118,818人 (3月末現在) (3) 貸出点数 427,035点 (3月末現在) |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2 レファレンスサービスの充実 レファレンスサービスの提供により、市民の学習・研究活動を支援することができました。 (1) レファレンス件数 3,522件 (3月末現在) |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3 多様なニーズに対応したサービスの充実 予約件数の引き上げやセット予約の導入を実施し、図書館の利便性向上を図ることで、市民の図書館利用を促すことができました。 (1) 予約件数の引き上げ及びセット予約導入の実施 (2) 予約資料の公民館受取サービスの実施 (3) 公共施設に設置した返却ポストの回収 (4) 図書館だより「こもれば通信」の発行 6回 (4月、6月、8月、10月、12月、2月) |
| | <ol style="list-style-type: none"> 4 バリアフリーサービスの充実 読書補助具の設置や、図書館の利用支援により、様々な理由から図書館の利用や読書に障がいのある市民の読書活動を支援することができました。 (1) 読書補助具 (リーディングトラッカー、リーディングルーペ) の設置 (2) 障がいを持つ利用者に対する図書館利用支援 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 5 図書館資料、設備を活用した多種多様な学びの機会の提供 図書館に関連した講座等の開催により、市民の生涯にわたる学習を支援するとともに、図書館の利用促進を図ることができました。 (1) 文学講座「芭蕉の『おくのほそ道』を読む」 6月22日、29日、7月6日 延べ37名 (2) 歴史講座「史料から見た『白岡』～地域と地名を考える～」 12月1日、8日、15日 延べ42名 (3) ファンファンシネマ (映画観賞会) 13回 延べ387名 (4) 日本工業大学との連携事業 「日本工業大学の先生がすすめる本」の展示 12月1日～1月31日 |

| | |
|---------------|---|
| 事業実績・成果 | <p>6 市民との協働による事業の実施 図書館ボランティアの養成・連携強化を図るとともに、図書館ボランティアとの連携による事業を実施することで、地域に根ざした図書館サービスを提供することができました。</p> <p>(1) 図書館ボランティアとの連携による事業の実施 ア おはなし会、ちいさい子のおはなし会 毎月第1～3金曜日、第2～4土曜日 イ こもれびの森まつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ウ 興善寺幼稚園図書館見学 1月12日：年長クラス60名</p> <p>(2) 図書館ボランティアの養成 ア 図書館ボランティア体験講座 2月18日、25日 延べ10名 イ 図書館ボランティア活動日 毎月第3土曜日</p> |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>図書館では、開館以来拡充を目指してきた蔵書数がほぼ目標に達し、予約図書の本数の上限が引き上げられるなどの改善がなされた。また、開館以来備えてきた音声拡大読書器などバリアフリーに対応した機器も活用されるようになり、その対応も職員が経験を重ねることで充実してきている。なかでも、職員が今年度の研修で得た情報から「読書補助具（リーディングトラッカー、リーディングルーペ）を即座に導入したことは、利用者である市民への配慮でありその前向きな姿勢は高く評価したい。</p> <p>一方で、レファレンスサービスや図書館間にある相互利用の周知などには改善の余地があり、今後はその拡充に努めてもらいたい。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>今年度実施した予約件数の上限引き上げにより、相互貸借の利用は約2倍となりましたが、利用は一部の市民に限定されているのが現状です。また、レファレンスサービスについてはその利便性等が十分に認知されていないことが課題です。相互貸借制度やレファレンスサービスについて、効果的な周知方法の検討を行い、より多くの市民に図書館を情報収集の拠点として活用いただけるよう、努めていきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 学び支援課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実 |
| 施策の方向 | ④子どもの読書活動の推進 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 図書館における子どもの読書活動の推進 2 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動推進の支援 3 子どもの読書活動を推進する体制の整備 4 子どもの読書活動推進に関する啓発・広報の充実 |
| 目標 | <p>子どもや親子を対象とした事業を実施するとともに、家庭や地域、学校等において子どもたちが自主的に読書に親しめるよう支援します。</p> <p>地域、学校等、図書館の連携強化を図り、子ども読書活動推進計画を着実に推進します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 図書館における子どもの読書活動の推進【重点】 子どもが楽しみながら本とふれあうことができる事業を実施することで、子どもたちに幅広い分野の本との出会いや、物語の面白さを体験する機会を提供することができました。 <ol style="list-style-type: none"> (1) おはなし会 おはなし会（3歳以上対象） 36回 延べ493名 ちいさい子のおはなし会（0～3歳対象） 35回 延べ812名 (2) 夏休み子ども講座 「友だちにすすめたい本の帯とPOPの作り方講座」 8月3日、4日 延べ46名 (3) 子ども司書養成講座 8月19日、20日 延べ7名 (4) 子ども司書活動日 毎月第3土曜日 (5) 第11回しらおか本の帯・POPコンクール 応募作品数：本の帯部門137点、POP部門265点 作品展示：12月1日～12月11日 (6) 日本工業大学との連携事業 「実験してみよう！ロボットのひみつ」 11月26日 22名 (7) 埼玉県推奨図書展示 12月1日～12月11日 (8) 図書館本の福袋 乳児、未就学児、小学生を対象に40袋を配布 1月5日 (9) 図書館おすすめ本総選挙 投票期間：1月5日～1月31日 入選作品展示期間：2月21日～3月19日 2 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動推進の支援【重点】 絵本を介した親子のふれあいを支援するブックスタート事業や、学校等を訪問して行うブックトーク等により、家庭や学校等における子どもの読書活動の推進を支援することができました。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭における子どもの読書活動推進の支援 <ol style="list-style-type: none"> ア ブックスタート（ブックスタートパックの配布のみ） 12回 356組 イ お父さんと一緒に本を読もう！ 5月22日、8月28日、11月27日、2月26日 延べ21名 (2) 学校等における子どもの読書活動推進の支援 <ol style="list-style-type: none"> ア 興善寺幼稚園おはなし会 5月26日 年中クラス親子86組、9月15日 年少クラス親子73組 イ ブックトーク 2回 83名 |

| | |
|---------------|---|
| | <p>3 子どもの読書活動を推進する体制の整備【重点】 市が一体となった子どもの読書活動推進に向け、地域・学校等との連携を強化することができました。</p> <p>(1) 学校等への団体貸出、学校巡回サービスの実施 (2) 図書館ボランティア連絡会議の開催 6月9日、9月29日 (3) 白岡教育研究会専門部学校図書館部会への参加</p> <p>4 子どもの読書活動推進に関する啓発・広報の充実【重点】 子どもの読書週間等にあわせたイベントの実施や市内小学校の図書館見学の受入等により、子ども達の図書館や読書に対する関心を高めることができました。</p> <p>(1) こどもの読書週間における事業 記念缶バッジの配布 4月23日～5月7日 計50個 「みんなでとばそう！紙ひこうき！」 5月5日 21名</p> <p>(2) 秋の読書週間における事業 ギャラリー企画展連携おはなし会 10月22日、11月12日、19日 延べ33名</p> <p>(3) 図書館見学、職場体験の受入 見学：小学校4校173名 職場体験：中学校2校8名</p> |
| 達成度 | A |
| 学識経験者の意見 | <p>本市では「白岡市子ども読書推進計画」に基づいた取組を進めている。昨年に引き続き実施された子ども司書養成講座や「子どもの読書週間」の取組は一定の成果を上げている。また「お父さんと一緒に本を読む」ことを目指した事業等を展開する努力も続けられ、「本の帯・POPコンクール」では400点を超える子どもたちの作品が展示された。また、幼稚園でのおはなし会の実施など訪問による事業の実施は今後の展開に期待したい。</p> <p>各小・中学校においても読書活動の推進に取り組んでいるところなので、今後も、図書館を核とした家庭・地域・学校等との連携を一層強化してもらいたい。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>市内幼稚園を訪問し、園児とその保護者を対象に実施したおはなし会は今年度からの取組みであるが、園及び保護者から好評を得ることができました。今後は実施を希望する園を募る等、事業の拡充を図り、子どもの読書活動推進のための連携を深めていきます。</p> <p>また、令和5年5月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更が予定されていることから、ブックスタートにおける読み聞かせを再開する等、より積極的に子どもが本とふれあう機会を提供できるよう努めていきます。</p> |
| 評価結果 | A |
| 担当課 | 学び支援課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|--------------|---|
| 施策目標 施策項目 | 3 社会教育の充実 (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実 |
| 施策の方向 | ⑤ 枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化 |
| 主な取組 | 1 こもれびの森まつりの開催 2 各種計画との連携によるイベントの開催 |
| 目標 | 市民との協働や、生涯学習センターの各機能との融合した事業を実施します。 |
| 事業実績・成果 | 1 こもれびの森まつりの開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず |
| | 2 各種計画との連携によるイベントの開催（再掲） 各種計画との連携、地域、学校などとの協働による講座の開催により、市民の生涯学習の機会を提供することができました。 (1) 各種計画との連携 ア 環境基本計画 ・ペアーズアカデミー（SDGs「陸の豊かさについて考える」）全4回延べ61名 ・大人の自然観察会「ひこべえの森 春の自然観察会」 5月7日 12名 イ 子ども・子育て支援事業計画及び環境基本計画 ・自然観察会 全3回 延べ109名 甲虫の標本を作ろう 8月21日 21組50名 秋のあぜ道観察会 10月8日 2組6名 ひこべえの森 冬のつどい 12月17日 53名 （7月16日に予定をしていた夜の昆虫観察会は中止） ウ 子ども・子育て支援事業計画及びしらおかはびすイッチプラン ・田んぼの学校 全4回（連続講座）延べ50組121名 田植え体験 5月14日 12組30名 田んぼの草花や生き物観察会 6月4日 13組32名 稲刈り体験 9月10日 13組31名 しめ縄作り 11月13日 12組28名 ・わいわい料理教室 全2回 延べ10組30名 うどん打ち 9月17日 4組8名 ピザづくり 10月22日 6組22名 |
| | (2) 学校等との協働事業 ア 市内中学校 自然観察会 ひこべえの森 冬のつどい 12月17日 21名 篠津中学校 5名、菁莪中学校 11名、南中学校 1名、白岡中学校4名 イ 埼玉県立白岡高等学校 ・学校開放講座「葉脈標本をつくる」 12月4日 5組11名 ・自然観察会 ひこべえの森 冬のつどい 12月17日 1名 ウ 興善寺幼稚園 興善寺幼稚園おはなし会 5月26日 年中クラス親子86組、9月15日 年小クラス親子73組 エ 日本工業大学 ・「実験してみよう！ロボットのみみつ」 11月26日 22名 ・「日本工業大学の先生がすすめる本」の展示 12月1日～1月31日 |

| | |
|---------------|---|
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>生涯学習センターは複合施設であるために多くの利用者が集まる。そのために図書館利用者が読書に集中できないといった問題点もあるようだ。一方で、今年度も中止となったが〔こもれびの森まつり〕や、ギャラリー展示と図書館との連携事業を多くの市民が楽しみにしている。多様なニーズがあるなかで市民にとって利用しやすい事業及び施設のあり方は今後の課題である。</p> <p>今年度は、初めて日本工業大学（所在地：宮代町）との連携事業が実施された。このことは、枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化を図るという観点からも意義がある。</p> <p>専門知識を持つ教授や学生からの説明は子どもたちに刺激を与えたことだろう。大学側も地域貢献ができて互いに有益な事業である。今後もこの連携が一層強化されることを大いに期待したい。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>こもれびの森まつりや各種計画との連携によるイベントを開催するとともに、地域、学校などとの協働を推進し、生涯学習活動の連携強化に努めていきます。</p> <p>また、日本工業大学との連携による初のイベントとして、今年度ロボット関連講座を実施しました。これは、図書館の科学関連図書の利用促進を目的に実施したのですが、受講者の子ども達だけでなく、日本工業大学の学生にとっても貴重な経験となり、双方にとって実りある取組みとすることができました。社会教育の充実のためには、この連携を長期的かつ広範囲なものとしていく必要があります。図書館のロボット関連講座については、内容をブラッシュアップし、継続的に実施できるよう、日本工業大学と協議を行っていき、より幅広い連携の在り方について検討を行っていきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 学び支援課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|--------------|--|
| 施策目標 施策項目 | 3 社会教育の充実 (2) 人権教育の推進 |
| 施策の方向 | ①人権教育推進体制の充実 |
| 主な取組 | 1 白岡市人権教育推進協議会研修会の開催 2 「埼葛人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会への参加 3 “じんけん”ふれあいコンサートの開催 |
| 目標 | 市人権教育推進協議会研修会等を開催し、人権教育を推進していきます。研修会を動画配信形式で実施するなど開催方法を検討し、多くの市民の参画を図っていきます。 |
| 事業実績・成果 | 1 白岡市人権教育推進協議会研修会の開催 家庭教育学級第2回合同講座（いきいき教育課主催）・青少年健全育成推進大会（福祉課主催）と併せて、動画配信形式で実施しました。 このことにより、誹謗中傷などのネットによるいじめ問題等を学び、人権意識の高揚が図られました。 演 題 ネットとの上手なつきあいかた ～子どもを被害者にも加害者にもしないために～ 講 師 （一社）S-netサポーターズ 代表理事 吉田理子氏 配信期間 11月16日（水）～11月30日（水） 視聴回数 419回 |
| | 2 「埼葛人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会への参加 「第31回埼葛人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会に参加しました。 このことにより、人権問題に対する理解と認識を深めることができました。 (1) 第31回埼葛人権を考えるつどい 10月6日（木） 久喜総合文化会館 参加者44名 (2) 各種人権教育研修会 |
| | 3 “じんけん”ふれあいコンサートの開催【重点】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施方法を見直し、12月の人権週間に合わせて、児童・生徒の人権作文・標語の発表及び表彰を行いました。 このことにより、人権問題について、正しい見方と考え方をもち、身近な問題として考えることができ、人権教育の重要性が再認識できました。 12月4日（日） 参加者77名 ※ 人権作文・標語集を作成し、配布しました。 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>人権教育推進協議会の研修は、家庭教育学級合同講座・青少年健全育成推進大会と併せてオンラインによる動画配信形式での実施となった。子育て世代に関心の高いテーマを設定したことで良い研修の機会を提供したといえる。</p> <p>また、この2年間中止となってきた「“じんけん”ふれあいコンサート」は、「人権作文表彰式」と形式を変えての実施となった。式は表彰が主体で発表・講評・賞状授与のみが実施された。今回は「人権作文表彰式」という名称だったが「標語」の表彰も行われていたので違和感を感じた。今後もこのスタイルで実施するなら事業名称を検討してほしい。</p> <p>発表の機会が設けられたことも、市内のすべての小・中学生が人権問題に向き合っこの課題に取り組めたことも喜ばしいことである。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>白岡市人権教育推進協議会研修会等を開催し、人権教育を推進していきます。</p> <p>中止となっていた“じんけん”ふれあいコンサートを開催し、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指します。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|--------------|--|
| 施策目標 施策項目 | 3 社会教育の充実 (2) 人権教育の推進 |
| 施策の方向 | ②啓発活動の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「埼葛人権を考えるつどい」や各種人権関係研修会への参加 2 “じんけん” ふれあいコンサートの開催 3 「広報しらおか」「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施 4 児童・生徒の人権作文集や各種啓発パンフレットの作成・配布 |
| 目標 | <p>“じんけん” ふれあいコンサートの開催やリーフレット等の作成・配布のほか、「広報しらおか」や「市公式ホームページ」などでの人権教育・人権問題の啓発を実施します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「埼葛人権を考えるつどい」や各種人権関係研修会への参加（再掲） 「第31回埼葛人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会に参加しました。 このことにより、人権問題に対する理解と認識を深めることができました。 (1) 第31回埼葛人権を考えるつどい 10月6日（木） 久喜総合文化会館 参加者44名 (2) 各種人権教育研修会 2 “じんけん” ふれあいコンサートの開催【重点】（再掲） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施方法を見直し、12月の人権週間に合わせて、児童・生徒の人権作文・標語の発表及び表彰を行いました。 このことにより、人権問題について、正しい見方と考え方を持ち、身近な問題として考えることができ、人権教育の重要性が再認識できました。 12月4日（日） 参加者77名 ※ 人権作文・標語集を作成し、配布しました。 3 「広報しらおか」「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施 人権教育啓発記事「人権それは愛」を、広報しらおかに掲載しました。 このことにより、人権意識の高揚が図られました。 6月号、8月号、12月号、3月号に掲載 4 児童・生徒の人権作文集や各種啓発パンフレットの作成・配布 3月13日（月） 人権作文・標語集を作成し、市内小・中学校に配布 3月24日（月） 啓発品を作成し、窓口にて配布 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>本市では、人権教育・人権問題の啓発のために“じんけん”ふれあいコンサートの開催や市独自のパンフレットの配布、広報・HPなどで継続的に長く啓発活動を行ってきた。コロナ禍により思うような活動ができない状況が続く、担当職員の苦勞が推察される。今年度、“じんけん”ふれあいコンサートの形を見直し、児童生徒の作文・標語の発表会とし、参加者人数を絞りながらも有意義な会になったことを評価する。特に、この取組に向けて、本市の全児童生徒が作文・標語を作成することで人権について深く考える機会となっていることが意義深い。さらに多くの児童生徒の作品が広く市民の目に触れられるようになれば、市民の一層の啓発にも有効であろう。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>引き続き、広報・HPなどで人権教育・人権問題の啓発を実施し、更なる人権意識の高揚を図ります。 中止となっていた“じんけん”ふれあいコンサートを開催し、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指します。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (3) 文化・芸術活動の促進 |
| 施策の方向 | ①文化・芸術に触れる機会の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 プライマリーコンサートの開催 2 文化講演会の開催 3 ランチタイムコンサートの開催 4 ギャラリー（企画展示室）の利用促進 |
| 目標 | <p>新型コロナウイルス感染症を踏まえ、プライマリーコンサート、文化講演会、ランチタイムコンサートの実施方法について検討し、開催に努めます。</p> <p>生涯学習センターギャラリーの活用など市民の文化・芸術活動を支援します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 プライマリーコンサートの開催【重点】 1月22日（日）に公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団（日本フィル弦楽四重奏団）による演奏会を開催しました。 身近な場所で生の演奏に触れ、音楽のすばらしさを体験していただきました。 320名 2 文化講演会の開催 11月3日（木・祝）に社会学者の古市憲寿さんをお招きし、「現代の幸福論」と題して、講演をしていただきました。 市民の皆様が、これまでの市の歩みを振り返り、市と市民の未来を改めて考えるきっかけとすることができました。 299名 3 ランチタイムコンサートの開催 コロナウイルス感染予防対策の観点から、令和2年度以降、開催を中止しています。 出演者であった市内の音楽愛好家は、生涯学習センターの音楽スタジオや集会室等を活用して、独自に活動を行っています。 4 ギャラリー（企画展示室）の利用促進 ギャラリー（企画展示室）は、市主催の企画展示のほか、芸術・文化などの分野において、精力的に創作活動をされている市民の皆様や、市内で活動されているサークルの方々による自らの創作活動の発表の場として、活用していただいております。 利用頻度が高く、今年度は17団体から利用申請を受け、利用期間はほぼ埋まっている状況にあります。 利用者のバランス、希望にこたえるためのギャラリー利用調整会議を年2回開催し、計画的なギャラリーの利用を推進しています。 |
| 達成度 | B |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>コロナ禍により、この3年間、文化・芸術に触れる機会は激減した。また、高齢者にとって都内まで足を伸ばして美術展や演奏会を見たり、聴いたりすることは困難であることが多い。それだけに地元の文化活動の活性化が望まれるところである。今年度、慎重に感染対策を講じて「プライマリーコンサート」「文化講演会」を開催したことを高く評価する。特に、コンサートでは身近な場所で生の演奏に触れることができた市民の喜びは格別なものであったに違いない。</p> <p>今後、コロナ対策も緩和され、イベント等が開催しやすくなることが予想される。同様な取組が継続されることを期待する。また、草の根的な市民活動の発表の場としてのランチタイムコンサートも意義深いものである。早期の再開を期待する。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>文化講演会を開催し、市民が幅広い文化・芸術に触れる機会を提供していきます。</p> <p>また、ランチタイムコンサートの再開に向けた検討を進めるとともに、生涯学習センター〔こもれびの森〕を市民や市内で活動する団体の成果発表の場として活用していく事業を実施していきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (3) 文化・芸術活動の促進 |
| 施策の方向 | ②市民の文化・芸術活動の支援 |
| 主な取組 | 1 社会教育団体との連携・協力 |
| 目標 | 社会教育関係団体に補助金を交付し、社会教育活動を行う団体の事業を支援します。 |
| 事業実績・成果 | 1 社会教育団体との連携・協力（再掲） 補助金の交付により、文化祭の開催や文連だよりの発行をすることができ、芸術・文化活動の充実、発展に寄与する活動を支援することができました。 ・社会教育関係団体補助金交付 【1 団体（白岡市文化団体連合会）】 |
| 達成度 | A |
| 学識経験者の意見 | 文化団体連合会には、様々な文化活動に関わっている市民が参加している。補助金の交付によって、各団体の日ごろの活動の成果発表の機会としての文化祭や、当該団体の広報活動を支援することは、市民の生涯学習活動の推進となるだろう。さらには、こうした支援が中央公民館の活性化にもつながることを期待したい。 |
| 課題 今後の対応方針 | 引き続き、社会教育団体に対する支援を通して、市民の様々な文化・芸術活動を推進していきます。 |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | 学び支援課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進 |
| 施策の方向 | ①文化財の総合的把握の促進 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 分野ごとの調査精度の向上 2 仏像、美術工芸品、建造物など未実施項目の調査の推進 3 「総合的な把握」の手法を生かした調査の推進 4 身近な文化財に気づき、誇りを持って守り伝える取組の支援 5 把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化の促進 6 市民協働での調査活動やワークショップの促進 |
| 目標 | <p>これまで文化財分野ごとに行われてきた調査活動の精度を高めるとともに、行われてこなかった分野の調査活動を推進します。また、調査対象の多角的な検討や、調査成果の分野横断的な検討を行い、文化財の総合的な把握に努めることで、市民のシビックプライドの醸成を図ります。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 分野ごとの調査精度の向上 今年度実施した調査活動は埋蔵文化財発掘調査と市内仏像調査、寄託・寄贈を受けた文書資料や民俗資料の整理を実施しています。 (1) 埋蔵文化財本発掘調査 4件 ア 中妻遺跡第30地点(篠津) 4月12日～7月5日 イ 山遺跡第18地点(白岡) 9月1日～10月25日 ウ 中妻遺跡第31地点(篠津) 12月1日～12月27日 エ 赤砂利遺跡第13地点(下野田) 3月17日～3月28日 (2) 埋蔵文化財試掘調査 17件 (3) 出土遺物整理事業 通年 山遺跡ほか (4) 発掘調査報告書作成・刊行 『山遺跡第3・9・12・14地点』 (5) 自然科学分析 神山遺跡第5地点出土獣骨保存処理・分析 (6) 諸家文書・歴史資料調査 ア 川島八重子家文書 2,096点 イ 荒井豊治家文書 183点 ウ 高岩田端耕地文書・歴史資料 256点 エ 川島みつ家文書 84点 (7) 企画展図録、歴史資料展示室紀要の刊行 2 仏像、美術工芸品、建造物など未実施項目の調査の推進【重点】 白岡市文化財保存活用地域計画に基づく仏像調査を5か寺で6回実施しました。調査初年度ですが、青雲寺において平安時代末期の仏像を発見するなど、成果があがっています。 (1) 仏像調査 6回 ア 青雲寺(篠津) 6月2日 イ 興善寺(白岡) 9月2日 ウ 興善寺(白岡) 10月7日 エ 薬師堂(実ヶ谷) 11月11日 オ 寿楽院(小久喜) 12月6日 カ 観福寺(野牛) 2月22日 3 「総合的な把握」の手法を生かした調査の推進 白岡市文化財保存活用地域計画で提示した6つの関連文化財群のストーリーを踏まえながら、構成文化財を補強するための調査を順次進めています。 今年度については、仏像調査で見出した青雲寺所蔵の阿弥陀如来座像がストーリー2「二つの川筋を背景に勢力を伸ばした鬼窪氏」を補強する大きな成果であったと捉えています。 |

| | |
|---------------|--|
| 事業実績・成果 | <p>4 身近な文化財に気づき、誇りを持って守り伝える取組の支援 文化財の管理と適切な伝承を行うため、文化財収蔵施設の維持管理に努めました。 指定文化財候補として青雲寺所蔵の木造阿弥陀如来坐像の調査と指定に向けた検討を進めました。 市内の文化財を収蔵している生涯学習センター3階の一般収蔵庫及び特別収蔵庫、寄贈・寄託による館蔵資料の燻蒸作業を実施しました。 指定文化財標柱改修事業として、篠津天王様の山車の標柱5本の塗り直しを実施しました。</p> |
| | <p>5 把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化の促進 把握した文化財については、速やかに整理を進め、今後の活用にあげます。 埋蔵文化財調査においては、調査後の図面と写真及び出土遺物の基礎整理作業を実施しました。 仏像調査においては、調査後の調書と写真の整理を実施しました。 寄贈・寄託を受けた歴史資料や民俗資料については、目録の作成と写真記録を実施しました。</p> |
| | <p>6 市民協働での調査活動やワークショップの促進 令和元年度から実施している白岡遺産ワークショップの中で、市内の関連文化財群を掘り起こし、その内容を白岡市文化財保存活用地域計画に反映させました。4同様、6つの関連文化財群のストーリーを踏まえながら、構成文化財を補強するための調査を順次進めています。</p> |
| 達成度 | A |
| 学識経験者の意見 | <p>白岡市文化財保存活用地域計画の策定後、その計画に基づいて今年度から本格的に仏像調査に着手している。まだ調査件数は少ないが既に貴重な仏像を見出すなど成果を上げている。さらに、市民協働での調査やワークショップなどが確実に実施されていることを高く評価する。 また、埋蔵文化財の調査についても、発掘及び試掘調査が年間を通して地道に実施されてきた。これらの成果については、これまで通りきちんと整理し、市民に公開し、情報を共有できるよう努めてもらいたい。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>文化財の総合的把握の促進は、文化財保存活用地域計画のスローガンである「地域の文化財を地域の手で守る」ための基盤づくりとしての意味を担うものと位置付けています。 このため、これまで実施してきた調査活動の精度を高めるとともに、調査の行われてこなかった分野の調査活動、分野横断的な調査活動を推進します。 また、調査成果については、適切な学術的価値の把握とともに、地域資料としての評価に心掛け、歴史資料展示室の企画展などに反映させるなどの方法で市民に還元します。</p> |
| 評価結果 | A |
| 担当課 | 学び支援課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|--|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進 |
| 施策の方向 | ②歴史文化の保存と継承 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 活用頻度の高い文化財の複製作成の推進 2 文化財伝承活動の適切な支援 3 地域と協力した適切な防災体制の構築 4 消防との情報交換体制の整備 5 白岡市文化財保存活用地域計画に関する理解の促進 |
| 目標 | <p>文化財の確実な保存と継承のために3つの取組を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化財の管理と適切な伝承活動 2 文化財に関する防災・防犯活動 3 文化財保護のための体制整備 |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 活用頻度の高い文化財の複製作成の推進 館蔵資料の整理を進め、複製作成すべき資料を抽出しています。 2 文化財伝承活動の適切な支援 文化財の適切な伝承を行うため、指定文化財に対して補助金交付による支援を実施しました。 (1) 指定文化財管理・修理に対する補助金交付 1件 山車提灯の補充(篠津天王様の山車・横宿耕地) 8月9日 3 地域と協力した適切な防災体制の構築 市指定文化財所有者には、管理者交代等も含め、適宜連絡をとることで、非常時の連絡先の把握に努めています。 また、文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練を地域住民参加で実施し、防災意識の醸成に努めました。 (1) 文化財防火訓練の実施 安楽寺(太田新井) 1月24日 参加者41名 4 消防との情報交換体制の整備 3であげた文化財防災訓練を共同で実施しました。さらなる連携に努めていきます。 5 白岡市文化財保存活用地域計画に関する理解の促進 昨年度の白岡市文化財保存活用地域計画の策定以来、計画書の刊行、概要版、マップの配布、計画に基づく「白岡遺産」をテーマとした企画展示の開催による周知を図ってきました。 白岡市観光協会設立20周年記念事業において、白岡市文化財保存活用地域計画に基づく文化財保存活用に関する講演を実施します。 (1) 白岡市観光協会設立20周年記念事業における文化財保存活用に関する講演 2月5日 講師派遣 1件 (2) 白岡遺産保存活用シンポジウム 2月12日 参加者35名 |
| 達成度 | A |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>白岡市文化財保存活用地域計画について、その理解の促進を図るため、年間を通して様々な事業に取り組んできたことを高く評価する。今後も、白岡遺産保存活用市民会議（仮称）の設立に向けて活動を充足させ、歴史文化の保存と継承の意識を市民に浸透させることに努めてもらいたい。</p> <p>また、歴史文化の保存と継承には防災体制の構築は欠かせない。今年度、県内では貴重な文化財が火災による被害を受けている。本市においても「文化財防火デー」における訓練等に真摯に取り組む、市民の文化財に対する防災意識を高めるように努めてもらいたい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>地域の歴史文化の適切な保存と継承は、文化財保護の根源的課題です。民俗芸能や祭礼などの適切な伝承の支援や、寺社などの地域歴史文化の集積地点を中心とする防犯・防災活動を推進していきます。施策の方向①に示した仏像調査の結果などを寺院の檀家はもちろん、地域や消防・警察などと共通する仕組みも検討していきます。</p> <p>また、地域の文化財保護・愛護団体の支援やボランティアの育成も今後の課題です。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>A</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進 |
| 施策の方向 | ③歴史文化の情報発信・普及活用の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 文化財調査の成果の速やかな公開 2 理解しやすく、親しみやすい文化財資料の公開 3 学校との連携強化の促進 4 歴史資料展示室事業の充実 5 Webを活用した情報発信の促進 6 文化財を活用した様々なイベントの推進 |
| 目標 | <p>文化財の調査成果の速やかな公表、理解しやすく親しみやすい情報発信に努めます。歴史資料展示室の充実や文化財を活用した様々なイベントの開催、また観光協会などと連携した新たな普及活動に努め、市民の郷土の歴史文化に対する興味関心を深めます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 文化財調査の成果の速やかな公開 埋蔵文化財については、毎年度発掘調査報告書を刊行しているほか、調査成果を速報として市ホームページに掲載しています。 仏像調査については、青雲寺における調査成果をまとめ、記者発表資料として公開した結果、新聞4紙に掲載されました。 指定文化財の新規指定・追加指定については、広報とホームページに掲載しています。 歴史資料展示室企画展「商店街のお宝発見！～記憶の中の白岡遺産～」の情報提供を行った結果、埼玉新聞の紙面に掲載されました。 2 理解しやすく、親しみやすい文化財資料の公開 資料画像について利用希望者の求めに応じ、テレビ番組等への画像提供を行ったり、講師派遣事業について資料を用いたりするなど、文化財と市民との距離が縮まるよう努めました。 (1) 外部への資料提供 資料貸出4件、資料画像提供5件 (2) 講師派遣 職員出前講座1件、白岡めぐりへの解説員派遣1件、観光協会20周年記念講演会1件 (3) 歴史的公文書の整理・目録の作成 109点 3 学校との連携強化の促進 歴史資料展示室常設展示の最終コーナー「明日を拓く」に展示する児童生徒の「未来の白岡」絵画展の公募を学校に対して行い、最優秀作品を展示しました。 文化財のうち、特に児童生徒の歴史学習活動に有効なものを学校に持参し、教材として活用する「歴史学習支援事業」の実施希望を照会しました。 |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>事業実績・成果</p> | <p>4 歴史資料展示室事業の充実 歴史資料展示室において企画展や季節展示を実施するとともに、市民向けの普及講座を積極的に開催することで、市民に文化財に関する情報を提供し、文化財に対する理解の促進に努めました。</p> <p>(1) 歴史資料展示室主催展示 計3回 ア 企画展「商店街のお宝発見!～記憶の中の白岡遺産～」 10月10日～11月25日 イ 季節展示「白岡の茶栽培」4月29日～6月4日 ウ 季節展示「白岡駅のあゆみ～開設111周年を経て～」 9月10日～10月16日</p> <p>(2) 定例展示解説会「ハンズ・オン・デイ」 計12回 4月16日・5月21日・6月18日・7月16日・8月20日・9月17日・ 10月15日・11月19日・12月10日・1月21日・2月18日・3月18日 (すべて土曜日)</p> <p>(3) ミュージアム・ゼミナール 3講座計9回 ア 縄文時代の考古学 縄文土器の文様を読み解く 7月7日、14日、21日 延べ11名 イ 発掘調査からたどる鬼窪氏の足跡 10月13日、20日、27日 延べ18名 ウ 近世文書から見る白岡～みんなで一緒にお伊勢参り～ 1月12日、19日、26日 延べ9名</p> <p>(4) 親子おもしろミュージアム ア 藍のたたき染め教室 8月6日 25名 イ だるまさんを作ろう 2月19日 12名</p> <p>(5) ペアーズアカデミーにおける連携講座 1講座3回 企画展との連携講座 11月10日、17日、20日 延べ42名</p> <p>(6) 展示室だより『のよみち』の発行 年4回 (7) 企画展図録、歴史資料展示室紀要の刊行</p> <p>5 Webを活用した情報発信の促進 市ホームページを活用し、文化財調査成果の公開するほか、歴史資料展示室実施事業の事前周知と事後報告についても情報発信を行いました。</p> <p>6 文化財を活用した様々なイベントの推進 4であげた歴史資料展示室におけるイベントのほか、学習支援担当と連携し、ペアーズアカデミーにおいて文化財に関する講義を実施しました。 文化財保存団体や文化財愛護団体が実施するイベントについても連携・協力に努めました。</p> |
| <p>達成度</p> | <p>A</p> |
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>仏像調査の成果は速やかに公表・報道され、多くの市民の知るところとなった。また、調査報告書及びパンフレット、広報誌・ホームページ等を活用した情報発信も行われた。</p> <p>さらには、歴史文化の情報発信や普及活用の充実を図るためには、歴史資料展示室の活用も重要である。〔こもればの森〕にある同室は、多くの人の目に触れる場所にあり、展示だけでなく、「ミュージアムクイズラリー」のような誰もが気軽に参加できるイベントなど年間を通して充実した事業を実施している。第5回企画展「商店街のお宝発見」では、指定文化財ではない日用品などを身近な文化財であると紹介するなど、継続して文化財の総合把握の促進に努めたことを高く評価する。</p> <p>今後もマスコミはじめ多くの媒体を活用した効果的な情報発信を継続し、事業の広報に努めてもらいたい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>文化財に関する普及活動は、事業数を指標にすると、近隣市町の関連事業数を上回る実績を上げています。今後とも、ニーズをとらえた普及活動の推進に努めます。</p> <p>地域の歴史文化や文化財に関する情報発信は、これまで印刷物による情報発信を主として来ましたが、情報の即時性や伝達範囲の拡大をはじめICTの活用が求められています。GIGAスクールに対応できる地域歴史文化のデジタルアーカイブの構築なども今後の情報発信の課題です。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>A</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進 |
| 施策の方向 | ④市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 特色ある地域の伝統行事の発掘の促進 2 地域の行事を地域で支える仕組みづくりの促進 3 担い手同士のネットワーク化の促進 4 周囲から支える仕組みづくりの促進 5 市民や地域団体の提案による文化財保護の取組の促進 |
| 目標 | <p>特色ある伝統行事を後世に伝えるために、地域の行事を地域で支える仕組みづくりを促進します。「白岡遺産」制度をその中核として、市民が主役となりうる文化財保護の仕組みづくりを促進します。</p> <p>また、地域が主体となっていく取組を地域の事業者、企業などが支援し、新たな取組の創造や、団体同士の支えあいの仕組みづくりを支援することで、市民や地域団体が主体的に文化財を守り伝えていく提案型の文化財保護の仕組みづくりを促進します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 特色ある地域の伝統行事の発掘の促進 「白岡遺産」制度の中核を担う組織として（仮称）白岡遺産保存活用市民会議を立ち上げた後、市民会議を主体として取り組んでいく予定です。 今年度は（仮称）白岡遺産保存活用市民会議を立ち上げに関わる準備段階として、グループワークを主体とした白岡遺産活用ワークショップを7回実施しました。 また、ワークショップの成果を踏まえたシンポジウムを開催しました。 (1) ワークショップ 6月26日・7月24日・8月28日・9月25日・10月23日・11月27日・ 1月29日（すべて日曜日） 7回 延べ92名 (2) シンポジウム 2月12日 参加者3.5名 (3) （仮称）白岡遺産保存活用市民会議設立予備会議 3月26日 参加者11名 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2 地域の行事を地域で支える仕組みづくりの促進 1同様に（仮称）白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3 担い手同士のネットワーク化の促進 1同様に（仮称）白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 4 周囲から支える仕組みづくりの促進 歴史資料展示室企画展「商店街のお宝発見！～記憶の中の白岡遺産～」の開催にあたって、商工会や商工業者からの資料・情報提供を受けるなどの連携を深め、文化財に対する理解を促進しました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 5 市民や地域団体の提案による文化財保護の取組の促進 1同様に（仮称）白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。 |
| 達成度 | A |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>白岡市文化財保存活用地域計画の理解促進のために、当該計画のワークショップが計画的に実施されたことを高く評価する。ここには様々な立場の市民が参加しており、「白岡遺産」の考え方を市民に浸透させることが、地域の伝統行事等も支えることに活かされてくるだろう。</p> <p>今後も、地域の行事を地域で支える仕組みづくり等を進めるとともに、白岡遺産保存活用市民会議（仮称）の設立に向けて活動を充足させ、市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用を目指してもらいたい。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>市文化財保存活用地域計画を推進するにあたり、市民との協働は不可欠の課題です。継続してきた白岡遺産保存活用ワークショップやシンポジウムを通して、方向性と課題を市民と共有し、（仮称）白岡遺産保存活用市民会議の設立に向けて動き始めることができたことは、今年度最も大きな成果の一つに数えられます。</p> <p>令和5年度は、同市民会議の設立が最も大きな課題になります。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>A</p> |
| <p>担当課</p> | <p>学び支援課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (5) 生涯スポーツの普及・推進 |
| 施策の方向 | ①生涯スポーツの普及・推進 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ教室（ニュースポーツ教室を含む）の実施 2 ウォーキング教室の実施 3 新体力テストの実施 4 白岡新春マラソン大会の開催 |
| 目標 | <p>市民の皆様の健康づくりの場を提供し、生涯スポーツ活動の推進を図ることを目的として、子どもから高齢の方まで気軽に参加できるスポーツ教室のほか、市民ウォーキング、雪上体験教室などの事業を実施します。</p> <p>また、令和4年度から2か年をかけて、本市におけるスポーツ活動を推進するための基本的な方向性を定める「白岡市スポーツ推進計画」を策定します。</p> |
| 事業実績・成果 | <p>1 スポーツ教室（ニュースポーツ教室を含む）の実施【重点】</p> <p>市民が生涯にわたり健康に暮らせるように、身体を動かすきっかけとして、ニュースポーツや障害者スポーツを体験できるニュースポーツ教室を市内各小学校体育館において開催しました。</p> <p>このことにより、市内におけるニュースポーツの周知が進み、また、市民が楽しく身体を動かすきっかけづくりを提供することができました。</p> <p>令和4年度のニュースポーツの種目は「ポッチャ」となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月12日（日） 南小学校体育館 17名 ・ 6月26日（日） 南小学校体育館 21名 ・ 7月9日（土） 西小学校体育館 中止 ・ 7月24日（日） 西小学校体育館 7名 ・ 9月3日（土） 菁莪小学校体育館 29名 ・ 10月22日（土） 篠津小学校体育館 37名 ・ 11月6日（日） 大山小学校体育館 9名 ・ 11月20日（日） 白岡東小学校体育館 13名 |
| | <p>2 ウォーキング教室の実施【重点】</p> <p>市民が生涯にわたり健康に暮らせるように、身体を動かすきっかけとして、市民ウォーキングをさいたま市大宮区周辺（造幣さいたま博物館・合併記念見沼公園など）において開催しました。</p> <p>このことにより、ウォーキングの楽しさを知ってもらい、日常においてもウォーキング等の運動を始めるきっかけを提供することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月27日（日） 26名 |
| | <p>3 新体力テストの実施【重点】</p> <p>今後の健康づくりや体力の向上を図るために自身の体力を調べる新体力テストを南小学校体育館において開催しました。</p> <p>このことにより、市民の体力・運動能力の現状を明らかになり、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得ることができました。</p> <p>10月2日（日） 17名</p> |
| | <p>4 白岡新春マラソン大会の開催【重点】</p> <p>令和5年1月15日（日）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としました。</p> |

| | |
|---------------|--|
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>ニュースポーツ教室（ポッチャ）は、スポーツ推進委員の支援を得ながら年間を通して回数を重ねて実施された。なかには参加者が40人近くになることもあったということで、これまでの累計参加者は相当数に上るのではないだろうか。ポッチャは幅広い年齢層が同時に対戦できるうえルールも簡単なので、生涯スポーツに相応しい競技といえる。パラスポーツの理解促進のためにも、今後もこの取組は継続してもらいたい。</p> <p>他にも、ウォーキング教室や新体カテストなどが実施された。市民ウォーキングでは、造幣さいたま博物館及び合併記念見沼公園で自然観察会も兼ねるような形で実施され、この事業でもスポーツ推進委員の支援が重要な役割を担った。新春マラソン大会は、開催の可否を判断する時期がコロナウイルス感染症拡大時期と重なったことで、今年度も開催することができなかったことは残念であった。しかし、多くの人の協力で生涯スポーツの普及・推進が進められたことを評価する。</p> |
| 課題 今後の対応方針 | <p>東京2020パラリンピック競技大会で行われ、話題となった「ポッチャ」をスポーツ教室の種目として引き続き実施するとともに、新たなスポーツにもチャレンジしていきます。</p> <p>白岡新春マラソン大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年連続で中止となりましたが、令和5年度は4年振りの開催を目指し、趣向を凝らした大会となるよう取り組んでいきます。</p> |
| 評価結果 | B |
| 担当課 | いきいき教育課 |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|----------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (5) 生涯スポーツの普及・推進 |
| 施策の方向 | ②スポーツ指導者の育成 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会体育関係団体指導者等研修会の実施 2. スポーツ推進委員研修会の実施 3. 社会体育団体との連携・協力 4. 障がい者スポーツ指導員の育成支援 |
| 目標 | <p>社会体育団体指導者等研修会やスポーツ推進委員研修会を実施し、スポーツ指導者の育成を推進します。</p> <p>また、研修会の内容の充実を図り、より多くの指導者や指導者を志す人の研修会への参加を促進します。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会体育関係団体指導者等研修会の実施 白岡市におけるスポーツ活動の普及・振興を図るため、体育協会加盟団体指導者・市内体育施設利用者等を対象に、指導者としての知識・技能の向上を図ることを目的として、社会体育関係団体指導者等研修会を実施しました。 ・3月19日(日) 63名 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2. スポーツ推進委員研修会の実施 ポッチャやモルック等各種ニュースポーツの研修会を実施し、ニュースポーツを体験することができました。 また、全国スポーツ推進委員研究協議会や埼玉地区スポーツ推進現地研修会の負担金について市が負担し、積極的な参加の促進を図りました。 このことにより、スポーツ推進員を中心とした生涯スポーツ・地域スポーツの指導体制の整備が図られました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3. 社会体育団体との連携・協力 白岡まつり(白岡市体育協会) 8月7日(土) 中止 市民体育祭(白岡市体育協会) 9月～10月中止 総合運動公園環境整備活動(白岡市体育協会) 1月7日(土) 中止 白岡新春マラソン大会(白岡新春マラソン大会実行委員会) 1月15日(日) 中止 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 4. 障がい者スポーツ指導員の育成支援 白岡アダプテッドスポーツ協議会が開催しているアダプテッドスポーツ教室において、白岡市アダプテッドスポーツ連絡協議会と連携し、教室を実施しました。 このことにより、障がい者や高齢者、子ども等と一緒にスポーツを楽しむことができる機会を提供することができました。 ・勤労者体育センターアリーナ 全8回 |
| 達成度 | B |
| 学識経験者の意見 | <p>社会体育関係団体指導者等研修会などの研修は、継続することで成果を上げることができると思っており、こうした研修会が各スポーツの指導者育成につながるよう期待したい。</p> <p>本市では、ニュースポーツとしてポッチャやモルック等を市民が体験する機会がある。こうした競技の実施にはスポーツ推進委員が大きな役割を果たしている。今後もコロナ禍の状況を勘案しながら、生涯スポーツの普及・推進を図るとともに安全にスポーツ事業を実施するためにも、研修の機会が失われないように願いたい。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>令和5年度も社会体育関係団体等研修会やスポーツ推進委員研修会、アダプテッドスポーツ教室を実施し、スポーツ指導者の育成や、生涯スポーツ・地域スポーツ・障がい者スポーツの指導体制の整備を図っていきます。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、近年中止となっていた白岡まつりや市民体育祭等の事業を通じて、社会体育団体との連携・協力を深めていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

白岡市教育委員会の点検・評価シート

| | |
|---------|---|
| 施策目標 | 3 社会教育の充実 |
| 施策項目 | (5) 生涯スポーツの普及・推進 |
| 施策の方向 | ③スポーツ施設・設備の充実 |
| 主な取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ施設・設備の適正な維持管理 2 指定管理者によるB&G海洋センターの管理運営 3 指定管理者が実施する自主事業（水泳教室等）の実施 |
| 目標 | <p>施設・設備の状態について日頃から注視し、適切な維持管理に努めます。</p> <p>また、学校体育施設の開放については、今後もスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、スポーツ活動の充実に努めます。</p> <p>B&G海洋センターについては、指定管理者制度を継続していくとともに、指定管理者が実施する自主事業を活用し、利用者の確保に努めます。</p> |
| 事業実績・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ施設・設備の適正な維持管理 勤労者体育センター、市民テニスコート、総合運動公園、白岡公園野球場及びふれあいの森公園運動広場の施設管理を適正に行うことができました。 なお、総合運動公園テニスコートの人工芝張替工事を令和4年12月から令和5年2月までの間に実施しました。 このことにより、市民の健康増進と体力向上を図ることができました。 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 2 指定管理者によるB&G海洋センターの管理運営 指定管理者によって、施設を適切に運営することができました。 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間） ・市制施行10周年記念イベント「B&GしらおかFesta」開催（12月4日） 来場者 約300名 ・各イベント参加者数 SUP体験 1回目 27名 2回目 10名 合計37名 アクアピクス 25名 ワークショップ 24名 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 3 指定管理者が実施する自主事業（水泳教室等）の実施 自主事業を実施することによって、利用者の増加に資することができました。 水泳教室（5～6月、9～10月、1～2月） ・初心者教室（18才以上） 延べ 41名 ・息継ぎクロール教室（18才以上） 延べ158名 ・背泳ぎ教室（18才以上） 延べ134名 ・平泳ぎ教室（18才以上） 延べ105名 ・バタフライ教室（18才以上） 延べ 73名 ・アクアピクス教室（18才以上） 延べ233名 ・ウォーキング教室（18才以上） 延べ114名 ・小学生水泳教室（泳げない児童） 延べ180名 |
| 達成度 | A |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>スポーツ施設・設備の維持・管理については、経年劣化への対応や高木の剪定及び繁茂への対応、場外へのボール飛び出し防止ネットを設置する等の対応が年間を通して適正に実施されている。また、指定管理者によるB&G海洋センターでは、3年ぶりにスポーツ水泳大会が開催されるなど、プール利用者はコロナ禍前の水準にほぼ戻り、「B&Gしらおか Festa」も盛況のうちに終了した。こうして、多くの市民がスポーツを楽しむ機会は提供されたといえる。</p> <p>今後も、感染拡大防止策を徹底し、適切な施設の運営を続けてもらいたい。市民が安心してスポーツに親しめるように、その施設及び設備が適正に管理運営されてきたことを高く評価する。</p> |
| <p>課題 今後の対応方針</p> | <p>市内体育施設に関しては指定管理者制度も活用しながら、体育施設及び設備を管理運営しています。</p> <p>体育施設の老朽化が進行していますが、令和5年度はB&G海洋センターの大規模修繕を予定しています。今後も計画的な改修に努め、市民が安全、安心してご利用いただけるように管理に努めていきます。</p> |
| <p>評価結果</p> | <p>A</p> |
| <p>担当課</p> | <p>いきいき教育課</p> |

